

人と技術で次代を拓く

MEITEC

メイテックグループ

2017年3月期 第2四半期 決算説明会

2016年11月8日
株式会社メイテック
代表取締役社長
グループCEO
國分 秀世

- 1. 2017年3月期第2四半期 業績**
- 2. 2017年3月期 業績予想**
- 3. ご参考資料**

- では、2017年3月期第2四半期の業績、2017年3月期の業績予想、を説明させていただきます。
- 「ご参考資料」は、のちほどご覧ください。

1. 2017年3月期第2四半期 業績



- まず、2017年3月期第2四半期の業績を説明します。

2017年3月期第2四半期業績 グループ連結

- ✓ 主要顧客である大手製造業が技術開発投資を持続されたため、エンジニア派遣事業が業績をけん引し、売上高は前期比4.7%の増収、営業利益は6.9%の増益
- ✓ 第2四半期純利益は前期のような特別利益がないため、8.7%の減益

グループ連結 (百万円未満切捨て)	'16年3月期 2Q実績	'17年3月期 2Q実績	前年同期比 増減額	前年同期比 増減率	'16年5月公表 2Q期初予想	予想比 増減額
売上高	42,143	44,111	+1,967	+4.7%	43,800	+311
売上原価	31,321	32,861	+1,539	+4.9%	32,700	+161
原価率	74.3%	74.5%	+0.2%			
販売管理費	6,077	6,178	+101	+1.7%	6,500	▲321
営業利益	4,744	5,071	+326	+6.9%	4,600	+471
営業利益率	11.3%	11.5%	+0.2%		10.5%	+1.0%
経常利益	4,723	5,074	+351	+7.4%	4,600	+474
特別損益	1,054	△0	▲1,055			
税金等調整前四半期純利益	5,777	5,073	▲704	▲12.2%		
親会社株主に帰属する四半期純利益	3,798	3,466	▲332	▲8.7%	3,000	+466
四半期純利益率	9.0%	7.9%	▲1.1%			

4

- グループ連結の業績です。
- 主要顧客の大手製造業で、技術開発投資を持続されたため、エンジニア派遣事業が業績をけん引し、売上高は前年同期比4.7%増収の441億11百万円、営業利益は6.9%増益の50億71百万円となりました。
- 四半期純利益は、前期の不動産売却益のような特別利益がないため、前年同期比8.7%減益の34億66百万円となりました。

- ✓ 引き続き連結売上高の9割超を占めるエンジニア派遣事業が業績をけん引
- ✓ エンジニアに特化した紹介事業も増収増益、エンジニアリングソリューション事業は営業損失

グループ・セグメント (百万円未満切捨て)	'16年3月期 2Q実績	'17年3月期 2Q実績	前年同期比 増減額	前年同期比 増減率
派遣事業 売上高	40,696	42,540	+1,843	+4.5%
構成比	96.6%	96.4%	▲0.1%	
営業利益	4,518	4,785	+267	+5.9%
紹介事業 売上高	720	846	+126	+17.6%
構成比	1.7%	1.9%	+0.2%	
営業利益	217	299	+81	+37.5%
エンジニアリングソリューション事業 売上高	846	821	▲25	▲3.0%
構成比	2.0%	1.9%	▲0.1%	
営業利益	10	△13	▲24	—

- グループ・セグメントの業績です。
- メイテックが中核の派遣事業、エンジニアに特化した紹介事業は増収、増益となりましたが、エンジニアリングソリューション事業は、営業損失となりました。

2017年3月期第2四半期業績 メイテック

- ✓ 稼働人員数の増加により、売上高は前期比2.8%増収、営業利益は4.4%増益
- ✓ 新卒エンジニアの配属業務を厳選していること、また、エンジニア社員のキャリアアップを狙いお客さまや業務のローテーションを戦略的に推し進めているため、稼働率は前期比▲0.7%

メイテック (百万円未満切捨て)	'16年3月期 2Q実績	'17年3月期 2Q実績	前年同期比 増減額	前年同期比 増減率	'16年5月公表 2Q期初予想	予想比 増減額
売上高	33,131	34,073	+941	+2.8%	34,000	+73
売上原価	24,758	25,545	+787	+3.2%	25,500	+45
原価率	74.7%	75.0%	+0.3%		75.0%	—
販売管理費	4,444	4,426	▲17	▲0.4%	4,700	▲273
営業利益	3,927	4,100	+172	+4.4%	3,800	+300
営業利益率	11.9%	12.0%	+0.1%		11.2%	+0.8%
経常利益	4,395	4,679	+283	+6.5%	4,300	+379
特別損益	1,041	12	▲1,029			
税引前四半期純利益	5,437	4,691	▲745	▲13.7%		
四半期純利益	3,749	3,279	▲470	▲12.5%	3,000	+279
稼働率(全体)	96.0%	95.3%	▲0.7%		95.6%	▲0.3%
稼働時間<h/day>	8.77	8.74	▲0.03	▲0.3%	8.77	▲0.03
エンジニア社員数<名>	6,563	6,735	+172	+2.6%		

6

- メイテック単体の業績です。
- 稼働人員数の増加が非常に大きく寄与し、売上高は前年同期比2.8%増収の340億73百万円、営業利益は4.4%増益の41億円、四半期純利益は、前期のような特別利益がないため、前年同期比12.5%減益の32億79百万円となりました。
- 稼働率は95.3%で、前年同期比で▲0.7%となりました。これは、決して環境が悪いわけではなく、今年4月に入社した新卒エンジニア社員の配属業務を厳選している他、エンジニア社員のキャリアアップを狙い、お客さまや業務のローテーションを戦略的に推し進めているためです。
- なお、稼働時間は、前年同期比、期初予想比共に▲0.03時間、低下しました。
この詳細は、のちほど説明します。

- ✓ 稼働人員数の増加により、売上高は前期比13.0%増収、営業利益は17.1%増益
- ✓ 新卒エンジニア社員の配属が順調に進んだため、稼働率は前期比+0.3%増加
- ✓ 四半期純利益は、税負担の軽減もあり、前期比49.7%の大幅増益

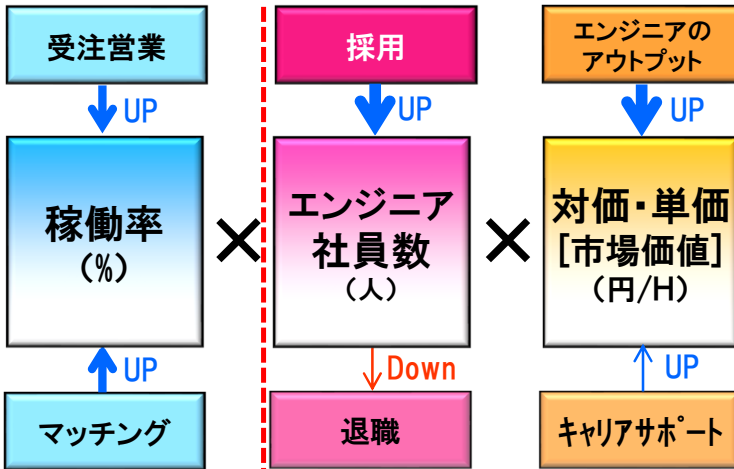
メイテックフィルダース (百万円未満切捨て)	'16年3月期 2Q実績	'17年3月期 2Q実績	前年同期比 増減額	前年同期比 増減率	'16年5月公表 2Q期初予想	予想比 増減額
売上高	6,386	7,218	+831	+13.0%	6,800	+418
売上原価	4,965	5,637	+672	+13.5%	5,300	+337
原価率	77.7%	78.1%	+0.4%		77.9%	+0.2%
販売管理費	873	939	+65	+7.5%	940	—
営業利益	547	641	+93	+17.1%	560	+81
営業利益率	8.6%	8.9%	+0.3%		8.2%	+0.7%
経常利益	548	639	+91	+16.8%	560	+79
特別損益	0	0	—			
税引前四半期純利益	548	639	+91	+16.8%		
四半期純利益	349	523	+173	+49.7%	380	+143
稼働率(全体)	94.2%	94.5%	+0.3%		92.8%	+1.7%
稼働時間<h/day>	8.90	8.87	▲0.03	▲0.3%	8.89	▲0.02
エンジニア社員数<名>	1,770	1,969	+199	+11.2%		

- メイテックフィルダースの業績です。
- メイテック同様、稼働人員数の増加が非常に大きく寄与し、売上高は前年同期比13.0%増収の72億18百万円、営業利益は17.1%増益の6億41百万円、四半期純利益は、税負担の軽減もあり、49.7%増益の5億23百万円となりました。
- 稼働率は、新卒エンジニア社員の配属が順調に進んだため、前年同期比+0.3%増加の94.5%となりました。
- メイテックフィルダースでも、稼働時間の低下が見られましたが、詳細は、のちほど説明します。

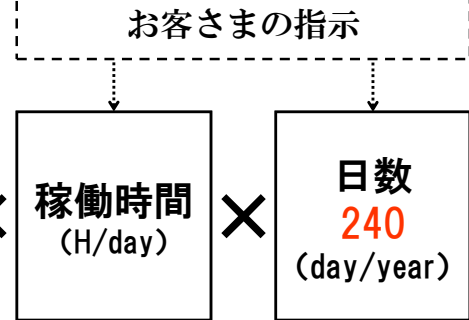
エンジニア派遣事業の売上高・原価の概要

- ✓ 高水準の「稼働率と対価」を維持・向上しながら、エンジニア社員数の増員が成長の鍵
- ✓ 稼働時間は重要指標の一つだが、当社グループではコントロール不可

企業努力でコントロール可能



コントロール不可



売上高

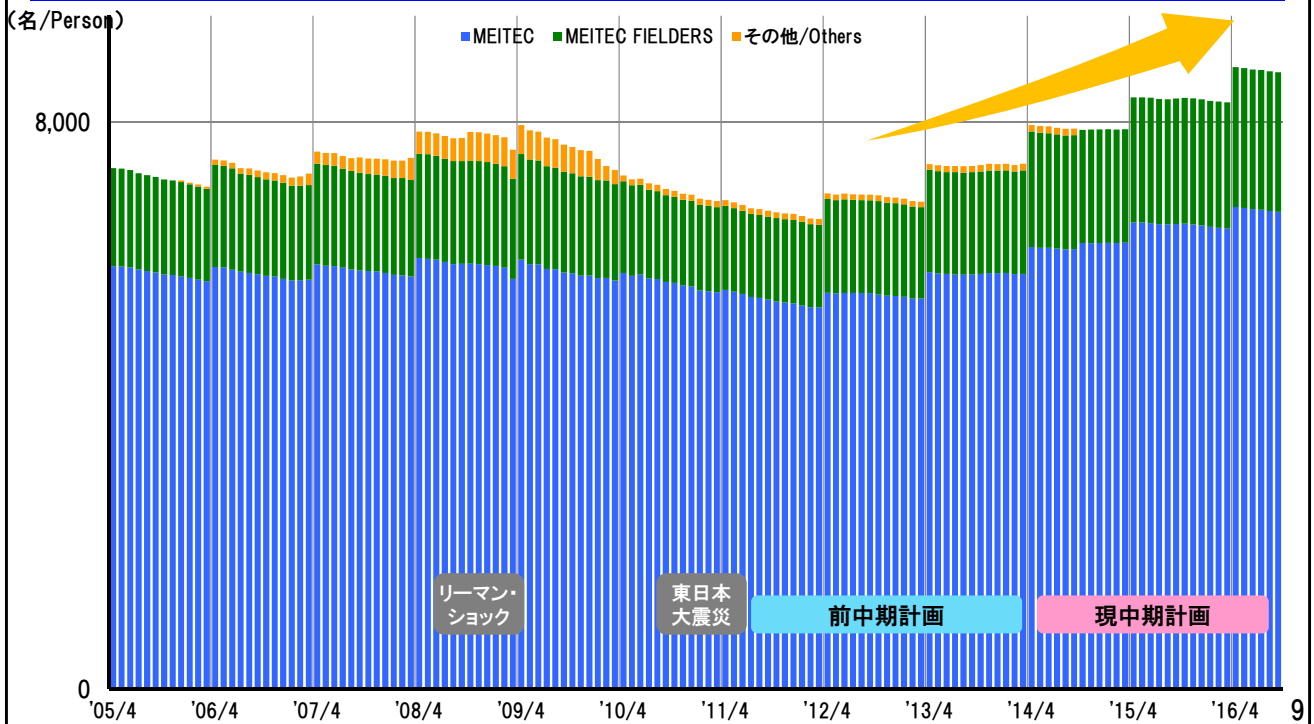
原価

8

- 無期雇用・正社員エンジニア派遣事業の売上高・原価の構成要素の概要です。
- 稼働率、エンジニア社員数、対価・単価は、今後も高める取り組みを継続的に行っていきます。
一方、稼働時間、稼働日数は、当社によるコントロールは不可ですが、重要指標として継続して注視していきます。

エンジニア社員数 グループ連結

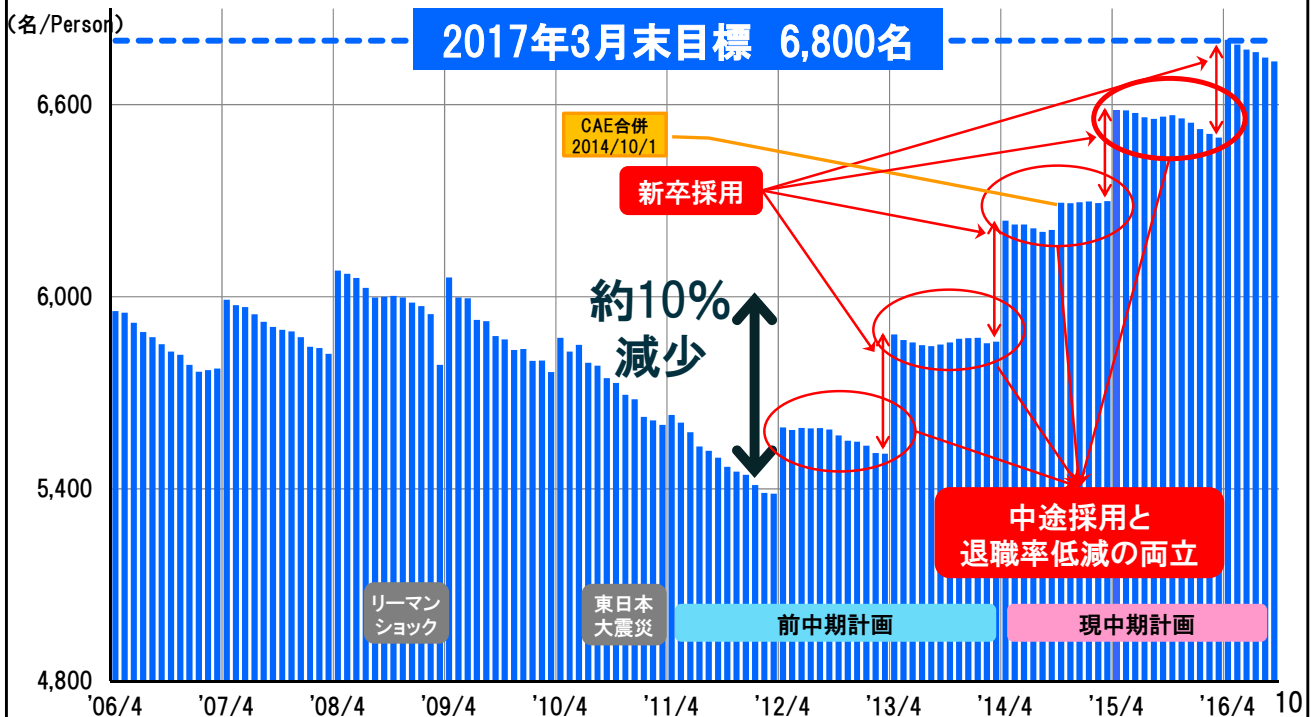
✓ 9月末のエンジニア社員数は8,704名(前年9月末比+371名、+4.5%)



- グループのエンジニア社員数の推移です。
- 2016年9月末のエンジニア社員数は、前年9月末比+371名、+4.5%増の8,704名となりました。
- メイテック、メイテックフィールドーズ共にオーガニックな増員がおおむね順調に進んでいます。

エンジニア社員数 メイテック

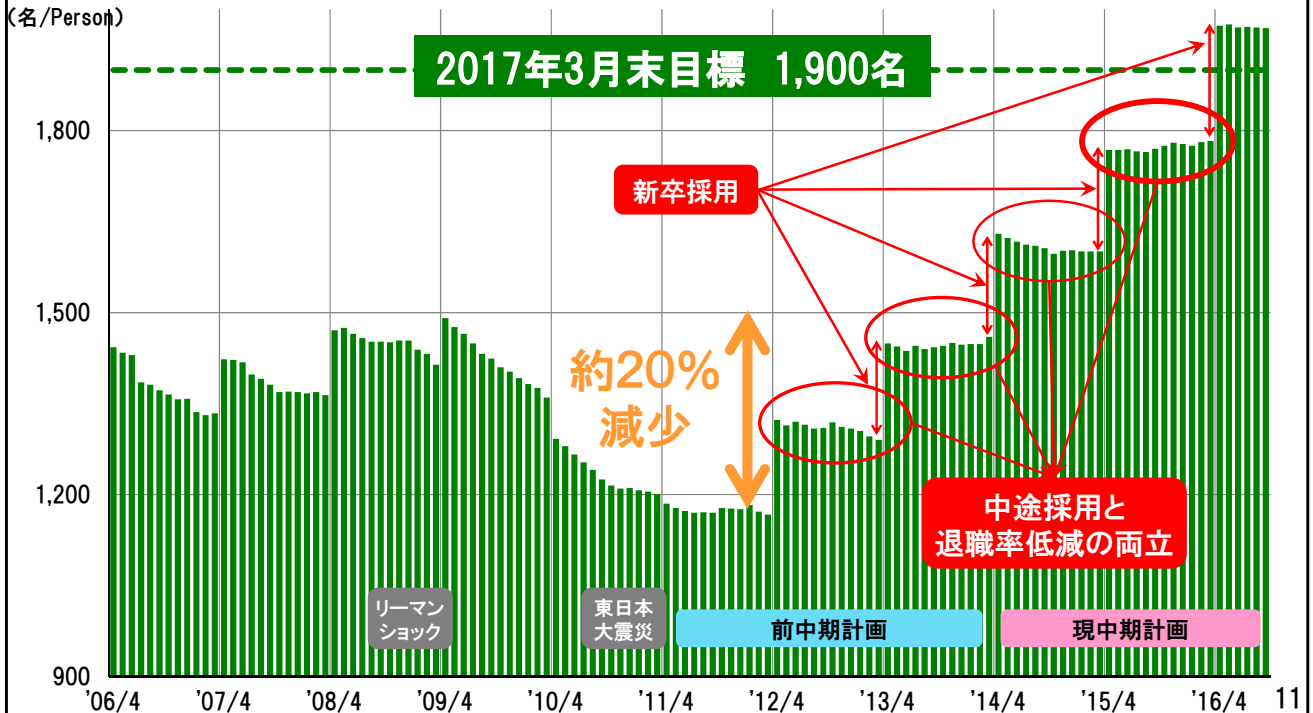
- ✓ 9月末エンジニア社員数は6,735名(前年9月末比+172名、+2.6%)
- ✓ 2017年3月末エンジニア社員数の目標6,800名達成には中途採用と退職率低減の両立がカギ



- 続いて、メイテック単体のエンジニア社員数の推移です。
- 2016年9月末のエンジニア社員数は、前年9月末比+172名、+2.6%増の6,735名となりました。
- 中期計画の3期目に入っていますが、2017年3月末のエンジニア社員数の目標6,800名の達成については、中途採用と退職率低減の両立が鍵となりますが、今後も採用市場におけるメイテックブランドを構築しつつ、質にこだわった採用活動を継続していきます。

エンジニア社員数 メイテックフィールダーズ

- ✓ 9月末エンジニア社員数は1,969名(前年9月末比+199名、+11.2%)
- ✓ 2017年3月末エンジニア社員数の目標1,900名を達成しているが中途採用と退職率低減の両立がカギ



- メイテックフィールダーズのエンジニア社員数の推移です。
- 2016年9月末のエンジニア社員数は、前年9月末比+199名、+11.2%増の1,969名となりました。
- なお、9月末時点で、中期計画で掲(かか)げた2017年3月末のエンジニア社員数の目標1,900名を達成しており、引き続き中途採用と退職率低減の両立をすすめます。

採用の状況

中途採用(2017年3月期)の状況

- ✓ 技術者の求人数は更に増加しており、厳しい採用環境継続
- ✓ こうした状況下、受注動向に即した機械系・電気電子系を中心に採用基準を保持し、円滑な配属を前提とした活動を継続中
- ✓ 採用目標数は、メイテックは135名(▲25名)、メイテックフィルダーズは183名(+25名)、グループ全体で318名(期初予想から変更なし)

新卒採用(2017年4月入社)の状況

- ✓ 求人企業数増・募集人員数に見られる求人意欲の上昇に加え、活動の早期化や強い地元志向など採用環境は継続激化
- ✓ こうした状況下、応募者確保に苦戦しつつも、採用基準の保持を前提に活動
- ✓ 内定者数は、メイテックは期初予想比▲18名(対前年▲26名)、メイテックフィルダーズは期初予想比▲5名(対前年+23名、過去最高)、グループでは期初予想比▲23名(対前年▲3名)

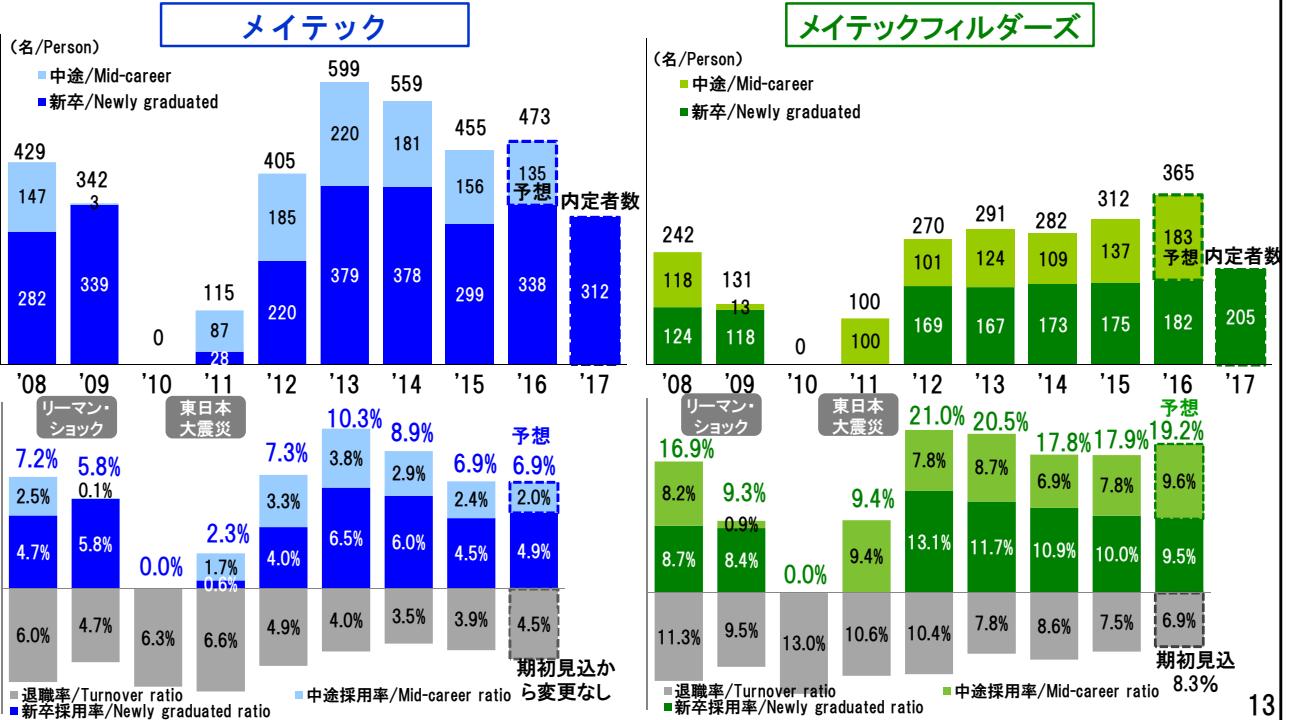
(名)	2017年3月期					2018年3月期	
	16年4月入社 新卒採用数 (実績)	中途採用数 〈目標〉	期初予想比	採用数合計 〈目標〉	期初予想比	17年4月入社 新卒採用数 (10月1日内定者数)	期初予想比
メイテック	338	135	▲25	473	▲25	312	▲18
メイテック フィルダーズ	182	183	+25	365	+25	205	▲5
合計	520	318	—	838	—	517	▲23
16年3月期比	+46	+25		+71			

12

- 採用の状況です。
- まず、中途採用の状況ですが、技術者の求人数はさらに増加し、採用環境は非常に厳しい状況が継続していますが、受注動向に則して「質を重視」した採用基準を保持しながら、採用に注力します。
- 上半期の状況を踏まえ、グループ全体の中途採用目標数は期初目標から変更はありませんが、メイテックは▲25名、メイテックフィルダーズは+25名に修正します。
- 次に、来年4月入社の新卒採用の状況です。
求人意欲の上昇、活動の早期化や強い地元志向など、採用環境は引き続き厳しい状況でしたが、採用基準を保持しつつ、さまざまな工夫を凝らして活動した結果、10月1日の内定者数は、期初目標比グループ全体で▲23名の517名となりました。これは、採用基準、質にこだわった結果です。
- 内定者数517名の水準は、新聞報道によると、日本企業全体では23位、理工系だけでは2位でした。これは、メイテックであれば安心してプロのエンジニアとして生涯働き続けられるということが、採用市場において、一定のご理解、共感を得ている一つの成果と考え、今後も継続して労働市場にアピールし、採用のブランドを高めていきます。

採用と退職

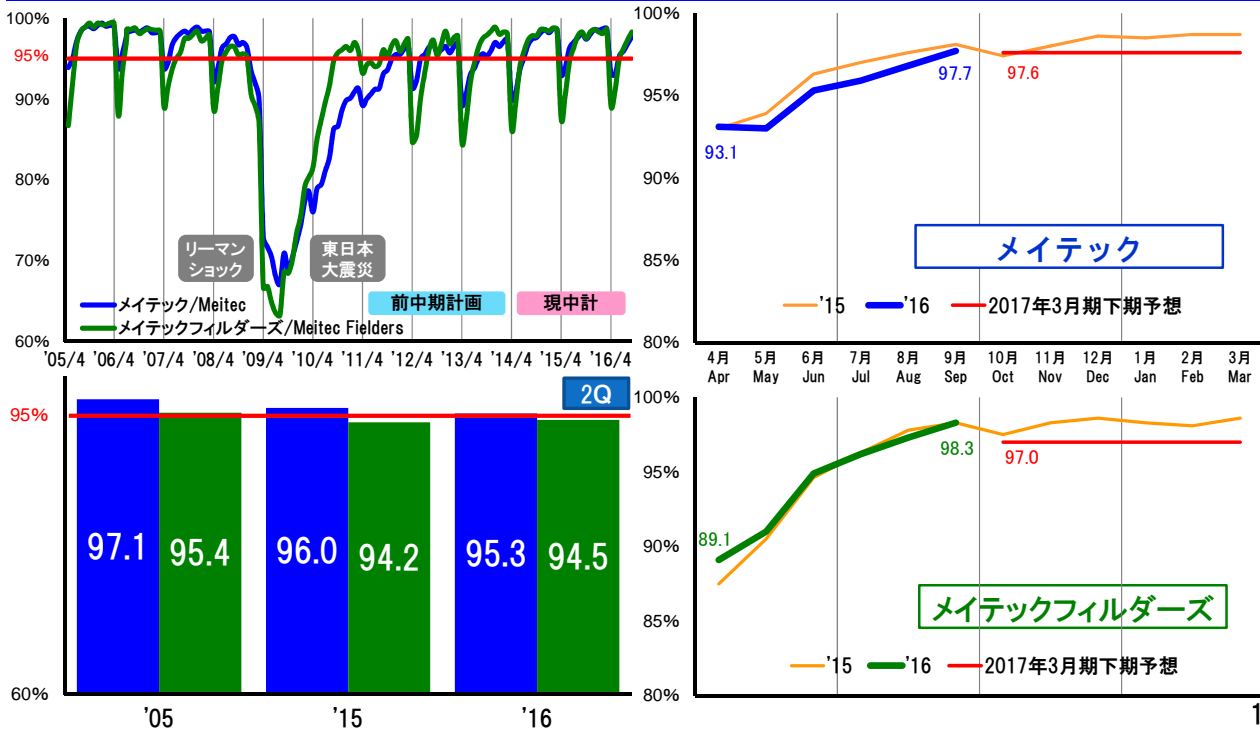
✓ 第2四半期決算公表時点の採用者数と退職率見込みは以下の通り
※採用率・退職率の実績は来年5月に公表予定



- 第2四半期決算公表時点の採用者数と退職率の見込みです。
- 退職率の見込みは、上半期実績を踏まえ、メイテックは期初予想の4.5%より変更ありませんが、メイテックフィルダーズは上半期の退職率が非常に低い水準で推移していることから、期初予想の8.3%から6.9%に修正しました。

稼働率

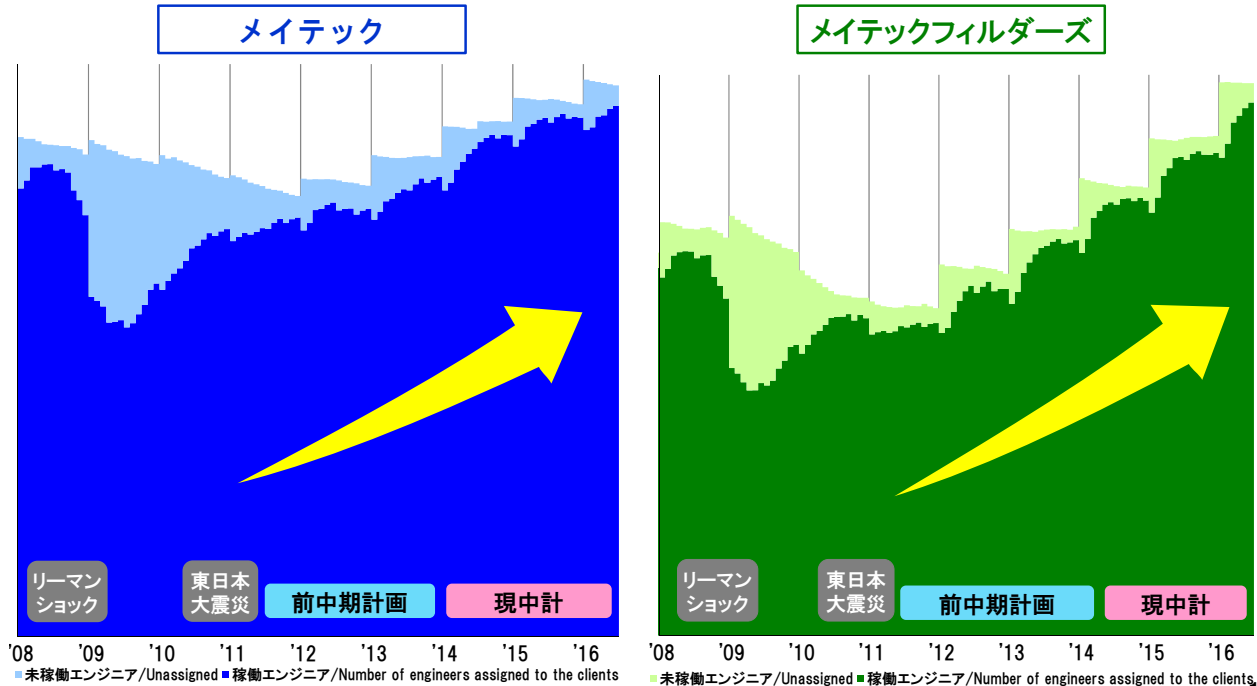
✓ エンジニア社員のキャリアアップを狙い、お客さまや業務のローテーションを戦略的に押し進めているため、稼働率は前年実績を若干下回ったが、高水準で安定的に推移



- 稼働率の推移です。
- メイテック、メイテックフィルダース共に、堅調な受注環境の下、稼働率は安定的に推移しました。
- なお、メイテックは前年実績を若干下回っていますが、その背景は、メイテック単体の業績で、ご説明した通りです。

稼働人員数(売上の主要素)

- ✓ 積極採用による「エンジニア社員数の増員」、受注獲得と早期配属による「高稼働の維持」を両立し、稼働人員数を着実に伸長

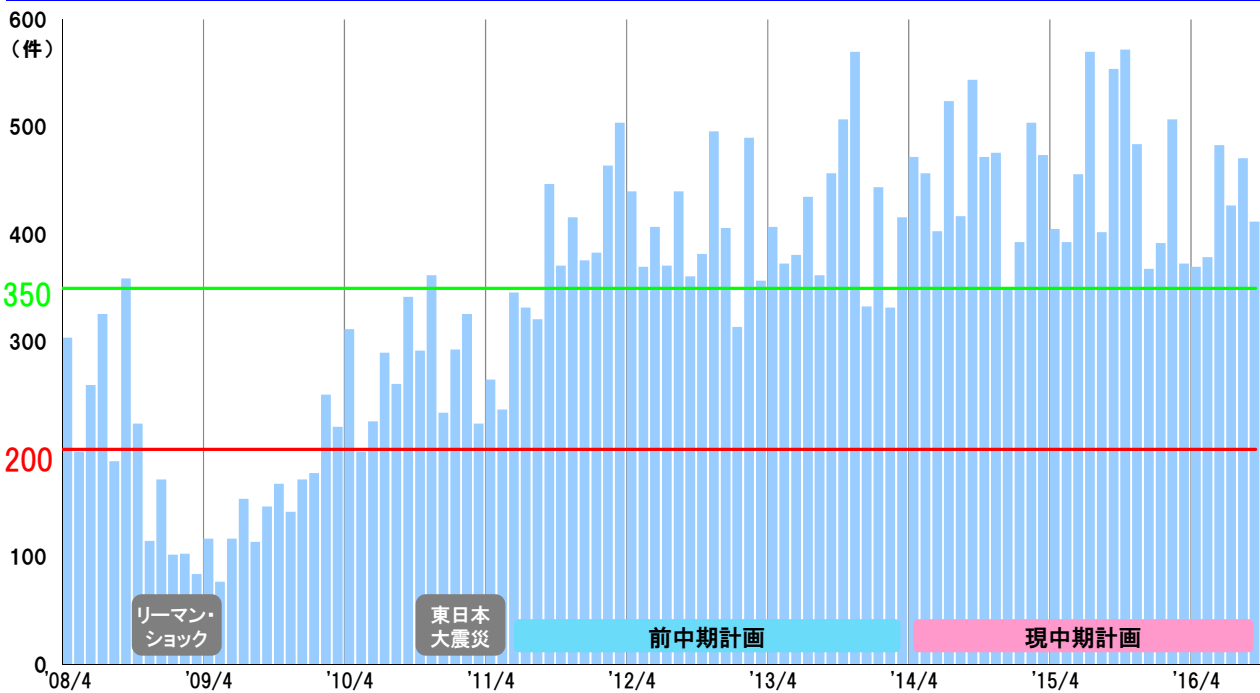


- 稼働人員数の推移です。
- 「エンジニア社員数の増員」×「高い稼働率の維持」が達成できたため、稼働人員数は順調に伸びています。
- 今後も継続して、エンジニアのキャリアアップにつながる受注案件を獲得し、お客さまや業務のローテーションを戦略的に推進しつつ、早期配属に努めます。

月間新規受注

✓ メイテック単体の月間新規受注は、堅調と見ている350件/月を超える水準を維持

注：新規受注の内訳（業種、お客さま、など）は公表を差し控えます

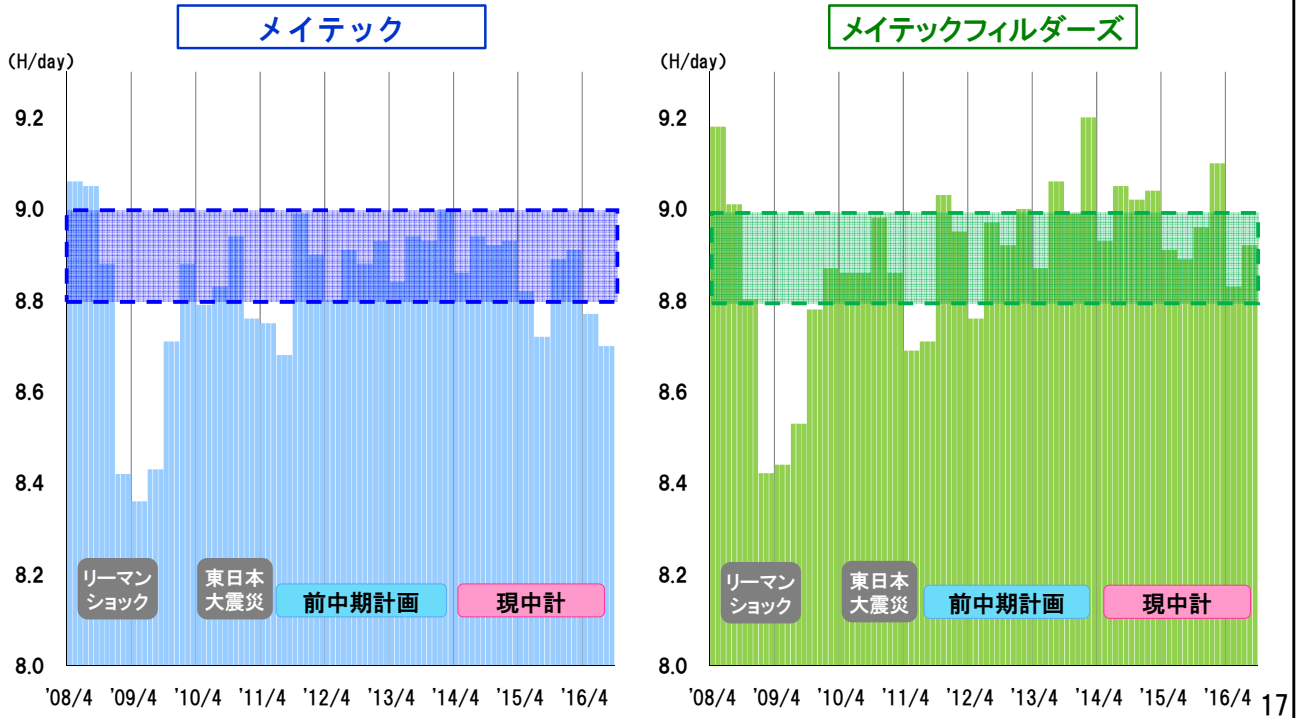


16

- 月間新規受注動向の推移です。
- 月間350件を超える新規受注件数をいただければ堅調、200件を下回る水準は危険な状態、と判断してきました。
- 足元は製造業のお客さまが長い視点で技術開発投資を進められていると認識しています。

稼働時間

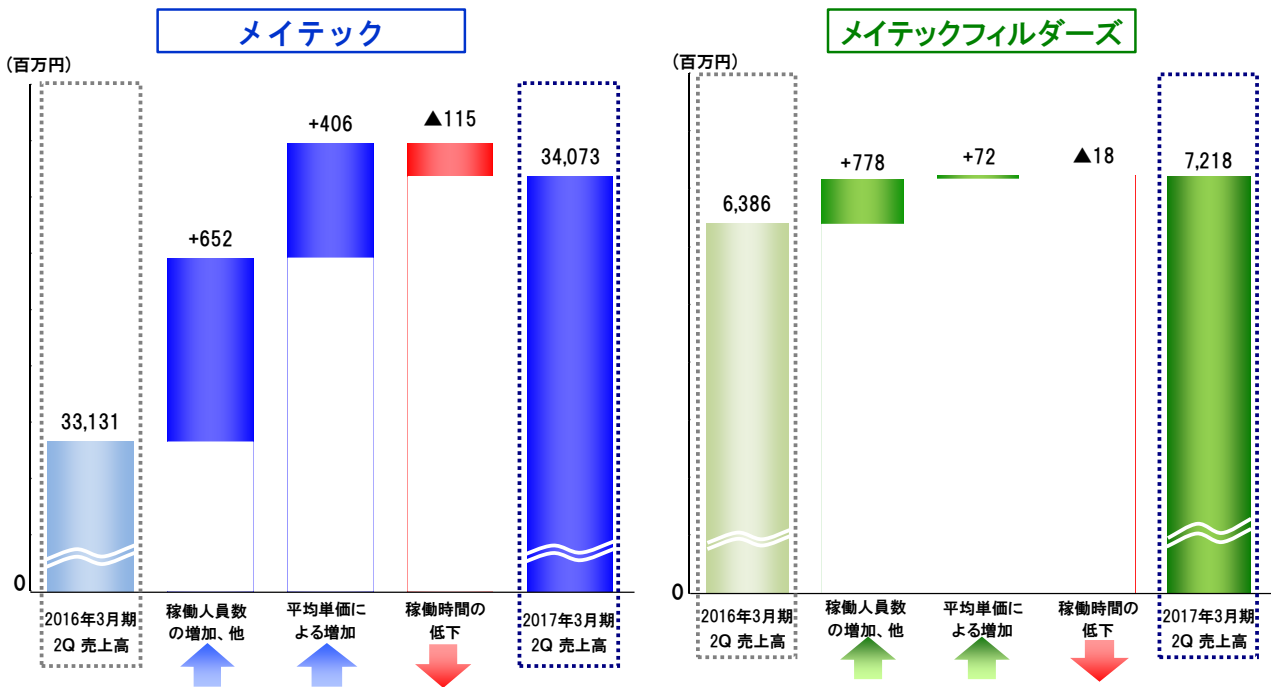
- ✓ 稼働時間は、時間外労働の減少等を背景に前年比で低下→8.8～9.0時間は堅調とみている
- ✓ 大きなリスクと見ていないが、今後も注視が必要 ※当社でコントロール不可



- 稼働時間の推移です。
- 稼働時間の0.1時間は売上高の約1%に該当しますので、業績影響の大きい指標の一つです。
- しかし、稼働時間は、お客さま先の業務指示の結果なので、当社側でコントロールは不可能です。
- 網掛け部分の8.8時間～9.0時間で推移していると堅調と見ていますが、特にメイテックについては、一部顧客での時間外労働の減少等により、1Q、2Q共に前年同期比で低下しています。
- 世の中においては、安全衛生、業務の生産性という観点からお客さま自身も時間外労働の管理徹底をおこなっていること、またワークライフバランスといった傾向も強まっている状況の中で稼働時間が減少していると認識しています。
- 現時点では、稼働時間の低下は、お客さまの開発投資、案件がネガティブな状況となっていることではないため、大きなリスクとは見ていませんが、引き続き注視していきます。

売上高前年同期比較

✓ 「稼働人員数の増加」による増収影響や、「稼働時間の低下」による減収影響は以下の通り



18

- メイテック、メイテックフィルダーズの売上高の増減内訳です。
- 両社ともに増収の主な要因は、「稼働人員数の増加」、「平均単価による増加」であり、その影響額は記載の通りです。

お客さまの売上高TOP10

✓ メイテック単体のお客さまの売上高TOP10は以下の通り

注：具体的計数の公表は差し控えます

(百万円)

2012年3月期2Q (2011年度)			2016年3月期2Q (2015年度)			2017年3月期2Q (2016年度)		
1	三菱重工業 様		1	キヤノン 様		1	三菱重工業 様	
2	パナソニック 様		2	三菱重工業 様		2	デンソー 様	
3	ニコン 様		3	デンソー 様		3	キヤノン 様	
4	キヤノン 様		4	パナソニック 様		4	パナソニック 様	
5	デンソー 様		5	ニコン 様		5	ニコン 様	
6	ソニー 様		6	川崎重工業 様		6	ソニーセミコンダクタソリューションズ 様	
7	川崎重工業 様		7	オムロン 様		7	トヨタ自動車 様	
8	ダイキン工業 様		8	ソニー 様		8	川崎重工業 様	
9	トヨタ自動車 様		9	三菱航空機 様		9	三菱航空機 様	
10	三菱電機 様		10	トヨタ自動車 様		10	オムロン 様	
トップ10社合計	7,203	28.5%	トップ10社合計	8,518	25.7%	トップ10社合計	8,428	24.7%
トップ20社合計	9,737	38.6%	トップ20社合計	11,855	35.8%	トップ20社合計	11,885	34.9%
その他	15,519	61.4%	その他	21,276	64.2%	その他	22,188	65.1%
合計	25,256	100.0%	合計	33,131	100.0%	合計	34,073	100.0%

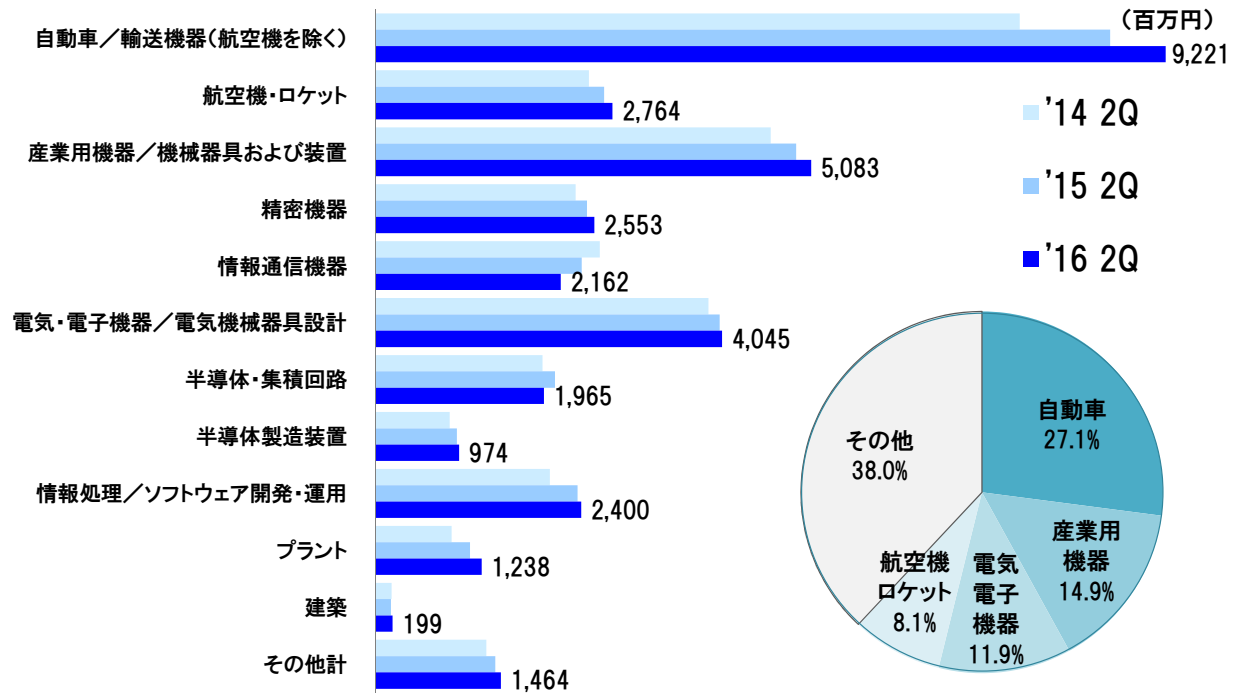
20

- メイテックのお客さまの売上TOP10です。
- 順位に若干の変動はありますが、TOP10圏内に入るお客さまに大きな変化は見られません。
- 成長セクターや新しい技術領域へ意図的にローテーションできる環境の拡大に努め、特定のお客さまに偏(かたよ)らず、幅広くサービスを展開することは、メイテックの強みをより強くするために必要不可欠です。

業種別の売上

✓ メイテック単体の業種別の売上高は以下の通り

注：計数は「ご参考資料」に掲載。お客さま別内訳や見通しは公表を差し控えます。



21

- 業種別の売上高です。
- 前年度に引き続き、「自動車関連」「産業用機器関連」の伸びが顕著です。
- 広い分野や業種のお客さまと取引して頂いているからこそ、特定の分野や業種が厳しい状況にあっても、意図的にエンジニアを他の業界や分野にシフトすることを可能としています。

2. 2017年3月期 業績予想



- 2017年3月期の業績予想などを説明します。

- ✓ 2016年度の下半期の業績予想修正を反映
- ✓ 計画3年目の目標値はほぼ達成したものの、課題が残っている状況

	中期経営計画 (当初目標)	2014年度 (実績)	2015年度 (実績)	2016年度 (業績予想)
グループ連結				
売上高	880億円	821億円	878億円	908億円
営業利益	100億円	95億円	108億円	107億円
営業利益率	12%以上	11.6%	12.4%	11.8%
当期純利益	60億円	36億円	80億円	76億円
ROE	15%以上	9.9%	21.5%	20.3%
メイテック				
売上高	680億円	646億円	688億円	702億円
営業利益	85億円	79億円	90億円	88億円
営業利益率	13%以上	12.3%	13.2%	12.5%
メイテックフィルダース				
売上高	135億円	119億円	133億円	148億円
営業利益	13億円	10億円	12億円	13億円
営業利益率	9.5%程度	9.0%	9.0%	8.8%

23

- 2016年度の業績予想は、足元の状況を踏まえて期初予想を修正しました。
- 中期計画3年目の目標値はほぼ達成したものの、営業利益率に課題が残っている状況です。

- ✓ 堅調な受注環境の持続を前提に、足元の動向を踏まえて、業績予想修正
- ✓ 売上高: 期初予想比+3億円(+0.3%)=上半期+約3億円、下半期ほぼ±ゼロ
- ✓ 営業利益: 期初予想比+4億円(+3.9%)=上半期+約5億円、下半期▲約1億円
→ 販売管理費の費消が、一部で上期計画から下期にズレた影響が主因
- ✓ 当期純利益: 期初予想比+6億円(+8.6%)=上半期+約5億円、下半期+約1億円

グループ連結 (百万円未満切捨て)	'17年3月期 公表予想	期初予想比 増減額	期初予想比 増減率	2四半期累計 実績	下半期予想 3Q+4Q	期初予想比 増減額	期初予想比 増減率
売上高	90,800	+300	+0.3%	44,111	46,688	▲11	—
売上原価	67,100	+200	+0.3%	32,861	34,238	+38	+0.1%
販売管理費	13,000	▲300	▲2.3%	6,178	6,821	+21	+0.3%
営業利益	10,700	+400	+3.9%	5,071	5,628	▲71	▲1.3%
営業利益率	11.8%	+0.4%		11.5%	12.1%	▲0.1%	
経常利益	10,700	+400	+3.9%	5,074	5,625	▲74	▲1.3%
親会社株主に帰属する当期純利益	7,600	+600	+8.6%	3,466	4,133	+133	+3.3%
1株当たり当期純利益(EPS)	262.58	+24.19		118.83			

- 堅調な受注環境が持続する前提で、エンジニア派遣事業における主要指標を、足元の動向も踏まえて修正しました。
- まず、新たな連結の業績予想と、期初予想との比較です。
- 連結の売上高は、期初予想比+3億円で、上半期+3億円、下半期は略(ほぼ)±ゼロの内訳です。
- この内訳は、メイテック単体と略(ほぼ)同じなので、のちほど説明します。
年間の営業利益は、期初予想比+4億円で、上半期+約5億円、下半期は▲約1億円の内訳です。下半期予想が期初予想を下回っていますが、これは、一部の販売管理費の費消が、上半期から下半期にズレた影響が主因です。
- 当期純利益は、期初予想比+6億円で、上半期+約5億円、下半期+約1億円の内訳です。当期純利益の修正幅が、売上高や営業利益の修正幅より拡大する背景は、前年度に引き続き、所得拡大促進税制の影響を織り込んでいるためです。

- ✓ 売上高:908億円(前期比+3.3%)、営業利益:107億円(▲1.6%)
 経常利益:107億円(▲1.3%)
 ⇒営業利益の減益は販売管理費の増加による影響
 当期純利益:76億円(前期比▲6.0%)
 ⇒前期の研修施設売却による特別利益約10億円の影響が大きい

グループ連結 (百万円未満切捨て)	'17年3月期 公表予想	前期比 増減額	前期比 増減率	2四半期累計 実績	下半期予想 3Q+4Q	前期比 増減額	前期比 増減率
売上高	90,800	+2,911	+3.3%	44,111	46,688	+943	+2.1%
売上原価	67,100	+2,438	+3.8%	32,861	34,238	+898	+2.7%
販売管理費	13,000	+647	+5.2%	6,178	6,821	+546	+8.7%
営業利益	10,700	▲174	▲1.6%	5,071	5,628	▲501	▲8.2%
営業利益率	11.8%	▲0.6%		11.5%	12.1%	▲1.3%	
経常利益	10,700	▲145	▲1.3%	5,074	5,625	▲496	▲8.1%
親会社株主に帰属する当期純利益	7,600	▲483	▲6.0%	3,466	4,133	▲151	▲3.5%
1株当たり当期純利益(EPS)	262.58	▲6.66		118.83			

25

- 次に新たな業績予想と前期実績との比較です。
 売上高は前期比+3.3%の908億円、
 営業利益は前期比▲1.6%の107億円へ修正しました。
- 営業利益が減益となる背景は、
 採用関連経費およびシステム関連経費といった、
 販売管理費の増加を見込んでいるためです。
- 当期純利益は前期比▲6.0%の76億円へ修正しました。
 前期比で減益となっている背景は、前期の特別利益が大きく
 影響しています。

2017年3月期業績予想 メイテック 期初予想比

- ✓ 売上高: 期初予想比±ゼロ=上半期+約1億円、下半期▲約1億円
- ✓ 営業利益: 期初予想比+3億円(+3.5%)=上半期+3億円、下半期±ゼロ
- ✓ 当期純利益: 期初予想比+4億円(+6.3%)=上半期+約3億円、下半期+約1億円

メイテック (百万円未満切捨て)	'17年3月期 公表予想	期初予想比 増減額	期初予想比 増減率	2四半期累計 実績	下半期予想 3Q+4Q	期初予想比 増減額	期初予想比 増減率
売上高	70,200	—	—	34,073	36,126	▲73	▲0.2%
売上原価	52,200	—	—	25,545	26,654	▲45	▲0.2%
原価率	74.4%	—	—	75.0%	73.8%	—	—
販売管理費	9,200	▲300	▲3.2%	4,426	4,773	▲26	▲0.6%
営業利益	8,800	+300	+3.5%	4,100	4,699	—	—
営業利益率	12.5%	+0.4%	—	12.0%	13.0%	—	—
経常利益	9,300	+300	+3.3%	4,679	4,620	▲79	▲1.7%
当期純利益	6,700	+400	+6.3%	3,279	3,420	+120	+3.7%
稼働率(全体)	96.5%	▲0.2%	—	95.3%	97.6%	▲0.2%	—
稼働時間<h/day>	8.82	▲0.01	—	8.74	8.90	—	—
採用数<名>	473	▲25	—	2017年4月入社の新卒採用見込み数 312		期初予想比 ▲18	
新卒採用数	338	—					
中途採用数	135	▲25					
退職率	4.5%	—	—				

26

- メイテック単体の新たな業績予想と、期初予想との比較です。
- 売上高は、略(ほぼ)期初予想通りです。
下半期予想は、中途採用目標数の減少による稼働人員数の減少と、平均単価の上昇の相殺(そうさい)を見込み、期初予想と略(ほぼ)同水準としました。
- 年間の営業利益は、期初予想比+3億円で、
上半期+3億円、下半期は略(ほぼ)±ゼロの内訳です。

2017年3月期業績予想 メイテック 前期比

- ✓ 売上高:702億円(前期比+1.9%)⇒稼働人員数の増加の影響
- ✓ 営業利益:88億円(前期比▲2.9%)⇒販売管理費増加の影響
- ✓ 当期純利益:67億円(前期比▲9.4%)⇒前期の研修施設売却による特別利益約10億円の影響

メイテック (百万円未満切捨て)	'17年3月期 公表予想	前期比 増減額	前期比 増減率	2四半期累計 実績	下半期予想 3Q+4Q	前期比 増減額	前期比 増減率
売上高	70,200	+1,321	+1.9%	34,073	36,126	+379	+1.1%
売上原価	52,200	+1,315	+2.6%	25,545	26,654	+528	+2.0%
原価率	74.4%	+0.5%		75.0%	73.8%	+0.7%	
販売管理費	9,200	+267	+3.0%	4,426	4,773	+285	+6.4%
営業利益	8,800	▲261	▲2.9%	4,100	4,699	▲433	▲8.5%
営業利益率	12.5%	▲0.7%		12.0%	13.0%	▲1.4%	
経常利益	9,300	▲226	▲2.4%	4,679	4,620	▲509	▲9.9%
当期純利益	6,700	▲691	▲9.4%	3,279	3,420	▲221	▲6.1%
稼働率(全体)	96.5%	▲0.7%		95.3%	97.6%	▲0.7%	
稼働時間(h/day)	8.82	▲0.01		8.74	8.90	—	
採用数<名>	473	+18		2017年4月入社の 新卒採用見込み数		16年4月 実績比	
新卒採用数	338	+39					
中途採用数	135	▲21					
退職率	4.5%	+0.6%		312	▲26		

27

- 次に、新たな業績予想と前期実績との比較です。
稼働人員数の増加から、年間の売上高は、
前期比+1.9%、+約13億円増収を見込んでいます。
内訳は、上半期+約9億円、下半期+約4億円となります。
- 年間の当期純利益は、前期比▲9.4%の67億円としましたが、連結で説明した内容が主因です。

✓ 売上高: 期初予想比+6億円(+4.2%)=上半期+約4億円、下半期+約2億円
→ 中途採用目標数増加によるエンジニア社員数の増加見込みと「稼働率の高さ」の好影響

メイテックフィルダース (百万円未満切捨て)	'17年3月期 公表予想	期初予想比 増減額	期初予想比 増減率	2四半期累計 実績	下半期予想 3Q+4Q	期初予想比 増減額	期初予想比 増減率
売上高	14,800	+600	+4.2%	7,218	7,581	+181	+2.5%
売上原価	11,500	+500	+4.5%	5,637	5,862	+162	+2.8%
原価率	77.7%	+0.2%		78.1%	77.3%	+0.3%	
販売管理費	2,000	—	—	939	1,060	—	—
営業利益	1,300	+100	+8.3%	641	658	+18	+2.9%
営業利益率	8.8%	+0.3%		8.9%	8.7%	+0.1%	
経常利益	1,300	+100	+8.3%	639	660	+20	+3.1%
当期純利益	1,000	+200	+25.0%	523	476	+56	+13.4%
稼働率(全体)	95.8%	+0.9%	期初予想比 +1.7%	94.5%	97.0%	+0.1%	
稼働時間<h/day>	8.95	▲0.01		8.87	9.03	—	
採用数<名>	365	+25					
新卒採用数	182	—					
中途採用数	183	+25					
退職率	6.9%	▲1.4%					
				2017年4月入社の 新卒採用見込み数		205	期初 予想比 ▲5

- メイテックフィルダースの新たな業績予想と、期初予想との比較です。
- 年間の売上高は期初予想比+6億円で、上半期+約4億円、下半期+約2億円の内訳です。
- 下半期の売上高は、中途採用目標数の増加などによる稼働人員数の増加を見込んで、期初予想から上方修正を行いました。
- 年間の退職率見通しは、上半期実績を踏まえて引き下げました。
- なお、当期純利益の修正幅が、売上高や営業利益の修正幅より拡大する背景は、先ほど申し上げたように、前年度に引き続き、所得拡大促進税制の影響を織り込んでいるためです。

2017年3月期業績予想 マイテックフィルダース`前期比

- ✓ 売上高:148億円(前期比+11.0%)⇒稼働人員数の増加が影響
- ✓ 当期純利益:10億円(前期比+27.2%)⇒所得拡大税制による法人税軽減見込みの反映が影響

マイテックフィルダース (百万円未満切捨て)	'17年3月期 公表予想	前期比 増減額	前期比 増減率	2四半期累計 実績	下半期予想 3Q+4Q	前期比 増減額	前期比 増減率
売上高	14,800	+1,472	+11.0%	7,218	7,581	+640	+9.2%
売上原価	11,500	+1,211	+11.8%	5,637	5,862	+538	+10.1%
原価率	77.7%	+0.5%		78.1%	77.3%	+0.6%	
販売管理費	2,000	+165	+9.0%	939	1,060	+100	+10.4%
営業利益	1,300	+95	+7.9%	641	658	+1	+0.3%
営業利益率	8.8%	▲0.2%		8.9%	8.7%	▲0.8%	
経常利益	1,300	+94	+7.8%	639	660	+2	+0.4%
当期純利益	1,000	+213	+27.2%	523	476	+40	+9.2%
稼働率(全体)	95.8%	▲0.4%		94.5%	97.0%	▲1.2%	
稼働時間<h/day>	8.95	▲0.02		8.87	9.03	—	
採用数<名>	365	+53		2017年4月入社の 新卒採用見込み数		16年4月 実績比	
新卒採用数	182	+7					
中途採用数	183	+46					
退職率	6.9%	▲0.6%		205	+23		

29

- 続いて、新たな業績予想と前期実績の比較です。
- 稼働人員数の増加を踏まえ、年間の売上高は、前期比+11.0%、+約15億円増収としています。
- 増収の内訳は、上半期+約8億円、下半期+約6億円を見込んでいます。
- 年間の稼働率は前期比▲0.4%の95.8%、下半期の稼働率は前期比▲1.2%の97.0%を前提とし、前期比で低下する見通しですが、既に稼働率が上限に近い水準へ達しているため、通常の「配属と契約終了」の動向などを基にして数値を見込んだもので、今年度の悪化を想定したものではありません。

利益配分に関する基本方針

- ✓ 持続的な成長の実現を通じて、中長期的に株主還元の最大化を目指す
- ✓ 利益配分に関する当社の基本的な考え方は、業績に基づいた成果配分

2011年5月改訂
利益配分方針

総還元性向

100%以内を原則

配当

業績連動型配当

連結当期純利益の50%以上

最低限の配当

連結株主資本配当率(DOE)5%

自己株式の
取得・
保有・消却

自己株式の取得

月商3ヶ月分を上回る資金を自己株式取得原資

継続保有：上限2百万株

消却：上限超を消却

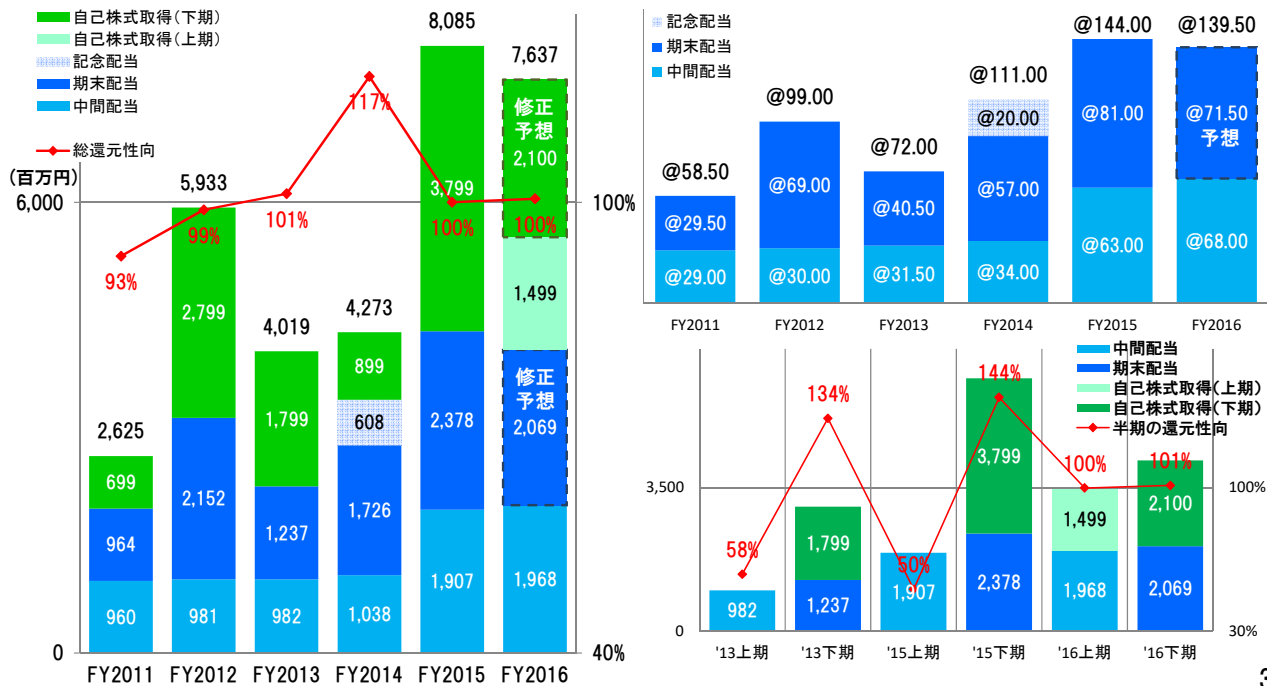
- ✓ 月商3ヶ月分＝「必要運転資金(ワーキングキャピタル):連結売上高の月商2ヶ月」+「財務基盤強化資金(2010年3月期に相当する危機的な市場環境になった際の事業継続資金):連結売上高の月商1ヶ月」
- ✓ 自己株式は、経営計画の目標達成等に向けて、今後の成長戦略の実行と成長に伴うリスクに対処していく機動的な財務政策を可能とするために保有

30

- 2011年5月に改訂した「利益配分の基本方針」は変更せず、維持する計画です。

利益配分の実績と予想

- ✓ 通期業績予想の上方修正と合わせて、利益配分の予想も上方修正
- ✓ 見直し後の利益配分予想は、通期・上半期・下半期ともに総還元性向100%



31

- 上半期の業績が期初予想を上回った事、年間業績予想を上方に修正した事を踏まえて、基本方針に従い、利益配分の予想も上方に修正しました。
- 上半期の利益配分は、四半期純利益の34億円強を100%還元します。既に約15億円の自己株式を取得済なので、19億円強の中間配当に修正して、期初予想の1株あたり51円50銭から68円へ上方修正します。
- また、新たな年間の当期純利益予想は76億円なので、下半期の純利益は約41億円強が見込まれます。この下半期の純利益を100%還元する予想とし、配当と自己株式取得の配分は投資家の皆さまとの対話で、配当を要望される方、自己株式取得を要望される方、それぞれ半々でしたので、下半期の配分は1:1とします。
- よって、1株当たりの期末配当は期初予想の68円50銭から上方修正して71円50銭とし、下半期の自己株式の取得も期初予想の20億円から21億円の予想へ上方修正します。

IN(採用)戦略	応募者を「獲得する力&フォローする力」の強化	✓年間採用数は中計当初目標に対し未達			✓営業利益率の向上 ✓成長の鍵は エンジニア社員を増員し続けること	
		(単位:名)	中計当初目標	2016年度目標		差
		MT※1	630	473	▲157	
		MF※2	300	365	+65	
		合計	930	838	▲92	
		※1:メイテック		※2:メイテックフィルダース		

OUT(営業)戦略	グループ連携営業	✓稼働率は95%以上で推移 ✓350件/月を超える受注水準
	組織力の強化	
	エンジニアとの協働	

FOLLOW(成長支援)戦略	『「技術力×人間力=総合力」の向上 & キャリアアップの支援』の強化	✓エンジニアのアウトプットに対し、対価・単価(・レート)を維持・向上
----------------	------------------------------------	------------------------------------

次期中期経営計画は2017年5月公表予定

- 中期計画の進捗などを説明します。
- IN(採用)戦略を除く2つは、順調に進捗していると認識しています。しかし、IN(採用)戦略においては、年間採用数が中期計画の当初目標に対し、未達の見込みとなっており、今後も成長していく上での大きな課題として認識しています。
- これら課題を見据えて、次期の中期計画を練り上げ、来年5月に公表したいと考えています。

- ✓ メイテックグループが培ってきた強みであるキャリアアップ支援とノウハウを活用し、本事業を開始

メイテックグループ「地域限定社員制度」を新設 九州エリアに特化したエンジニア派遣サービスを開始

- ✓ 既存事業同様のキャリアアップを軸としたサービスの提供

- ✓ 働き方の価値観の多様化に対応

地域を限定した働き方の実現により、さらに多様な働き方を創出し、製造業各社にも提案する人材の選択肢を広げる

地域限定社員数は、3年後に150名規模を計画

- 最後に、既にご案内していますが、「地域限定社員制度」を新設し、九州エリアに特化したエンジニア派遣サービスを開始しています。
- さらに多様な働き方を創出し、製造業各社にも提案する人材の選択肢を広げてまいります。
- 九州地域は自動車、半導体、産業機器といった、多岐にわたった製造業が進出しており、また、特定労働者派遣は約15,000人の規模があると認識しています。
- したがって、労働市場とお客さまのニーズに対し、メイテックグループの強みを生かし、働き方の選択肢の拡大、お客様の選択肢の拡大にチャレンジしていきたいと考え、グループとしての新たな取り組みとして慎重に進めて参ります。
- 私からの説明は以上です。
- 今後も皆様のご期待に応え続けられるよう、努力して参ります。
- ご清聴、ありがとうございました。

人と技術で次代を拓く

MEITEC

メイテックグループ

IRに関するお問い合わせ

Tel : 03-5413-0131 Mail : ir@meitec.com

<http://www.meitec.co.jp>

〈ご注意〉

本資料に記載した業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

実際の業績等に影響を与える可能性のある重要な要因には、既に公表している有価証券報告書等で記載した「事業等のリスク」に係る事項があります。なお、業績に影響を与える要因はこれらに限定されるものではありません。

3. ご参考資料

人と技術で次代を拓く

MEITEC

メイテックグループ



一社でも多くのお客様に、
一人でも多くのエンジニアに、
メイテックグループを活用いただき、
感動や喜びを実感できる
「機会と場」の拡大を目指します。

2016年度がスタートし、メイテックグループは、「グループ中期経営計画 2014-2016」の最終年度を迎えますが、価値創造のリーディングカンパニーとして、未来に向けて持続的に成長し続ける企業グループを目指していきます。

代表取締役社長
メイテックグループCEO 國分 秀世

メイテックグループの特色

1. 正社員エンジニアの派遣業界最大手

〈業界最大の取引 & 業界最高の品質、先駆者〉

2. 日本最大規模の「プロのエンジニア集団」

〈生涯プロエンジニア®を輩出するプラットフォーム〉

3. お客様は、約1,000社の日本の大手製造業

〈創業以来、40年間で、延べ4,000社超〉

- ✓ 中期計画のスタートに先立ち、「グループの目指すべき姿」(ビジョン)を見直し
→ 従前の4つ(社員・顧客・株主・社会)の価値から、下記の5つの価値へ修正

〔経営理念〕
共生と繁栄

〔コーポレートスローガン〕
人と技術で次代を拓く

顧客価値
すべてのお客さまから信頼される
ベストパートナーを目指し、
最適な「人と技術」のサービスを
提供し続けます

社会価値
生涯プロエンジニアという働き方の
確立を通じて、日本に
「プロフェッショナルな労働市場」を
創り出す先駆者になります

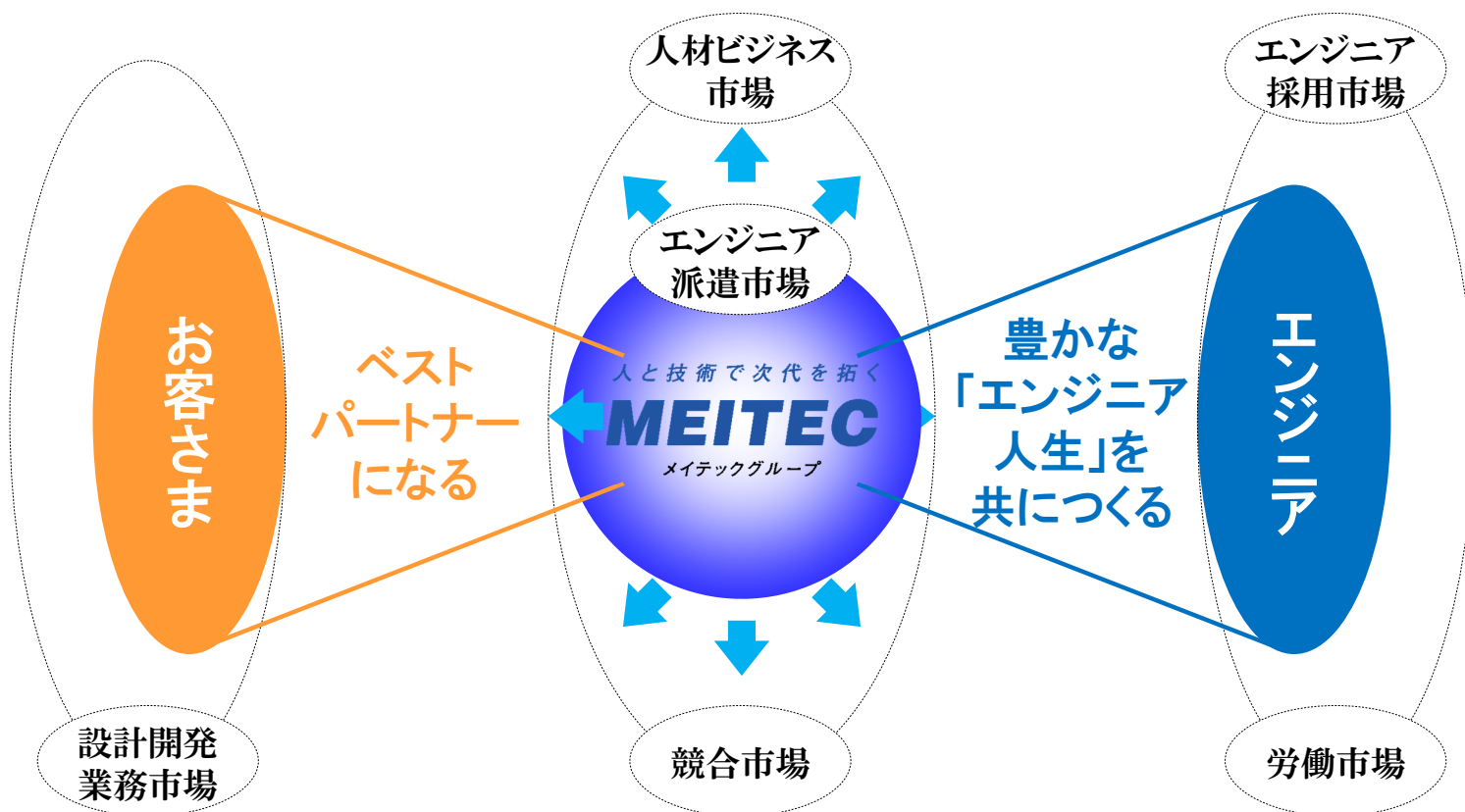
私たちメイテックグループは、
全社員がつながりあい、
エンジニア価値を起点として、
5つの価値を
持続的に向上させます

エンジニア価値
豊かな「エンジニア人生」を目指す
すべてのエンジニアに対して、
最適な「機会と場」を
提供し続けます

社員価値
「自立と支えあい」に共感し、
プロフェッショナルとして成長し続ける
社員に対して、最適な「機会と場」を
提供し続けます

株主価値
持続的な価値向上に基づく
「健全な利益」を創出し、
中長期的に株主還元を最大化します

- ✓ 経営理念・コーポレートスローガンの再確認、「目指すべき姿」の見直しを経て、
グループによるサービス提供先への提供価値を明文化した事業方針を確定



2017年3月期第2四半期業績

- ✓ 子会社別の実績
- ✓ 紹介事業のメイテックネクストの売上高営業利益率は30%超

(百万円)	派遣事業				紹介事業			ES事業
	メイテック	メイテック フィルダーズ	メイテック キャスト	メイテック EX	メイテック ネクスト	all engineer.jp	明達科 (中国)	アポロ技研 グループ
売上高	34,073	7,218	1,340	45	758	65	33	821
前期比 増減額	+941	+831	+41	+16	+119	▲2	+7	▲25
前期比 増減率	+2.8%	+13.0%	+3.2%	+56.9%	+18.7%	▲3.7%	+29.6%	▲3.0%
営業利益	4,100	641	49	△13	283	21	△5	△13
前期比 増減額	+172	+93	+2	—	+79	▲7	+18	▲24
前期比 増減率	+4.4%	+17.1%	+4.9%	—	+38.8%	▲26.5%	—	—
経常利益	4,679	639	49	△13	283	21	△5	△14
四半期純利益	3,279	523	39	△13	193	17	△5	9

40

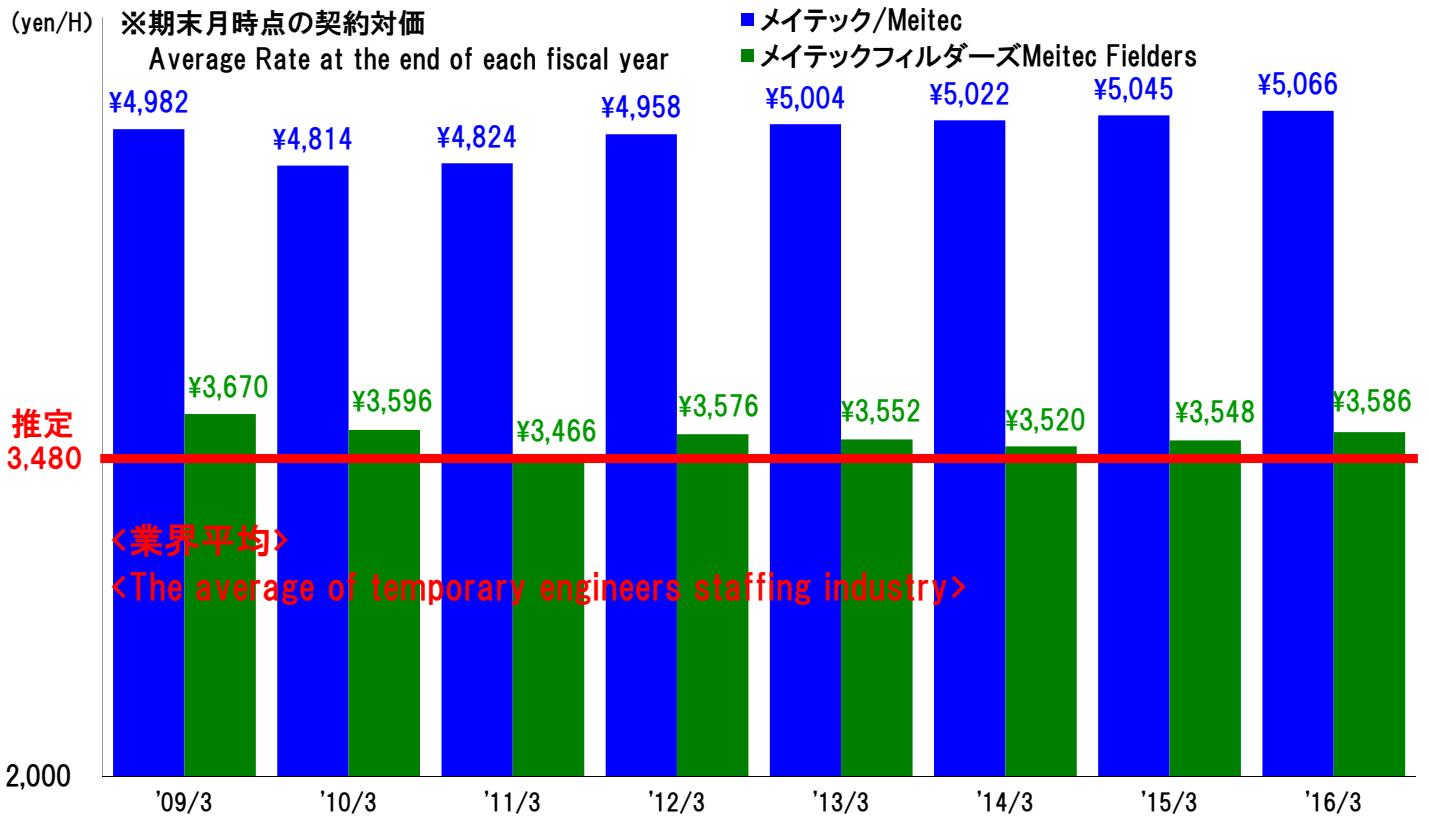
2017年3月期業績予想

- ✓ 子会社別の業績予想
- ✓ 紹介事業のメイテックネクストは前期比+21.1%の増収を計画

(百万円)	派遣事業				紹介事業			ES事業
	メイテック	メイテック フィルダーズ	メイテック キャスト	メイテック EX	メイテック ネクスト	all engineer.jp	明達科 (中国)	アポロ技研
売上高	70,200	14,800	2,700	110	1,600	120	100	1,750
前期比 増減額	+1,321	+1,472	+64	+41	+278	▲13	+29	▲255
前期比 増減率	+1.9%	+11.0%	+2.5%	+59.5%	+21.1%	▲9.9%	+42.7%	▲12.7%
営業利益	8,800	1,300	90	△30	540	10	0	5
前期比 増減額	▲261	+95	+2	—	+106	▲40	+33	▲63
前期比 増減率	▲2.9%	+7.9%	+3.0%	—	+24.5%	▲80.4%	—	▲92.7%
経常利益	9,300	1,300	90	△30	540	10	0	5
当期純利益	6,700	1,000	60	△30	360	10	0	20

41

- ✓ 再掲(2016年5月公表資料)
- ✓ この資料の計数は、通期業績を公表する際、お知らせします



余白

業種別売上高推移【メイテック】

(百万円)

メイテック	2013年 3月期2Q	2014年 3月期2Q	2015年 3月期2Q	2016年 3月期2Q	2017年3月期2Q			
	売上高				売上高	売上 構成比	対前年 増減額	対前年 増減率
自動車、輸送機器関連(航空機を除く)	5,529	6,283	7,517	8,574	9,221	27.1%	+647	+7.5%
航空機・ロケット関連	2,099	2,276	2,492	2,669	2,764	8.1%	+95	+3.6%
産業用機器、機械器具および装置関連	4,081	4,130	4,611	4,908	5,083	14.9%	+174	+3.6%
精密機器関連	1,977	2,194	2,335	2,468	2,553	7.5%	+84	+3.4%
情報通信機器関連	2,492	2,588	2,618	2,406	2,162	6.3%	△ 244	△10.2%
電気・電子機器、電気機械器具設計	4,335	3,946	3,886	4,016	4,045	11.9%	+28	+0.7%
半導体・集積回路関連	1,658	1,760	1,949	2,095	1,965	5.8%	△ 129	△6.2%
半導体製造装置関連	908	920	865	949	974	2.9%	+24	+2.6%
情報処理、ソフトウェア開発・運用	1,900	1,843	2,036	2,357	2,400	7.0%	+42	+1.8%
プラント関連	769	778	888	1,103	1,238	3.6%	+135	+12.3%
建築関連	172	182	187	181	199	0.6%	+18	+9.9%
その他	1,200	1,246	1,293	1,398	1,464	4.3%	+65	+4.7%
合計	27,125	28,150	30,681	33,131	34,073	100.0%	+941	+2.8%

44

業種別売上高推移【メイテックフィルダース】

(百万円)

メイテックフィルダース	2013年 3月期2Q	2014年 3月期2Q	2015年 3月期2Q	2016年 3月期2Q	2017年3月期2Q			
	売上高				売上高	売上 構成比	対前年 増減額	対前年 増減率
自動車、輸送機器関連(航空機を除く)	1,249	1,551	1,981	2,385	2,682	37.2%	+297	+12.5%
航空機・ロケット関連	74	91	95	115	173	2.4%	+57	+49.4%
産業用機器、機械器具および装置関連	611	715	862	941	1,036	14.4%	+95	+10.1%
精密機器関連	603	763	820	808	836	11.6%	+28	+3.6%
情報通信機器関連	163	169	201	209	263	3.6%	+54	+25.8%
電気・電子機器、電気機械器具設計	873	735	768	819	874	12.1%	+55	+6.7%
半導体・集積回路関連	264	234	226	233	264	3.7%	+31	+13.4%
半導体製造装置関連	200	234	196	230	341	4.7%	+111	+48.3%
情報処理、ソフトウェア開発・運用	73	111	164	168	164	2.3%	△ 4	△2.4%
プラント関連	91	132	183	225	263	3.6%	+38	+17.0%
建築関連	44	46	12	7	10	0.1%	+2	+30.0%
その他	264	249	241	242	307	4.3%	+64	+26.8%
合計	4,513	5,037	5,753	6,386	7,218	100.0%	+831	+13.0%

45

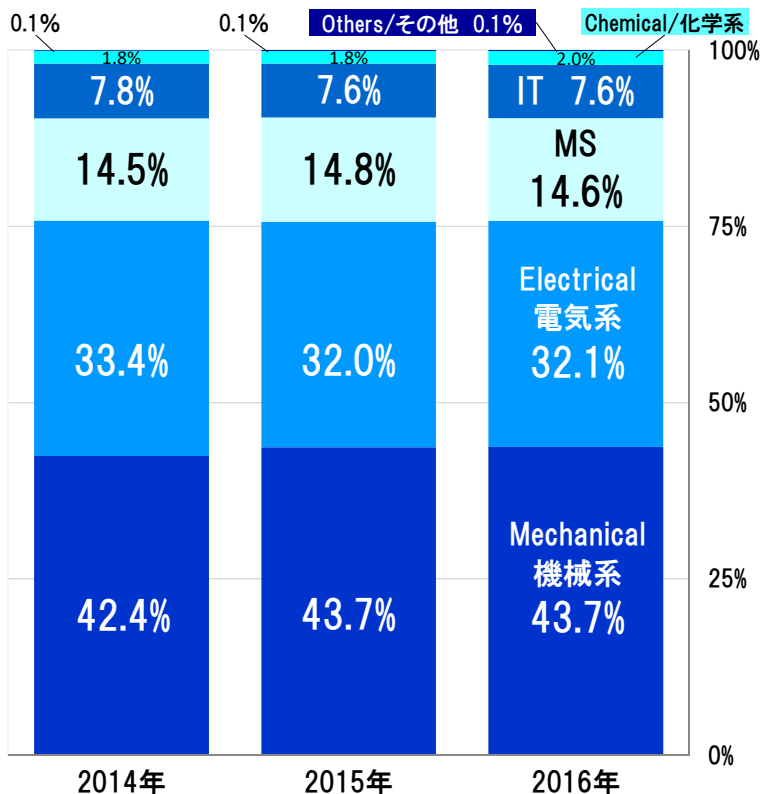
メイテックエンジニアの構成

再掲

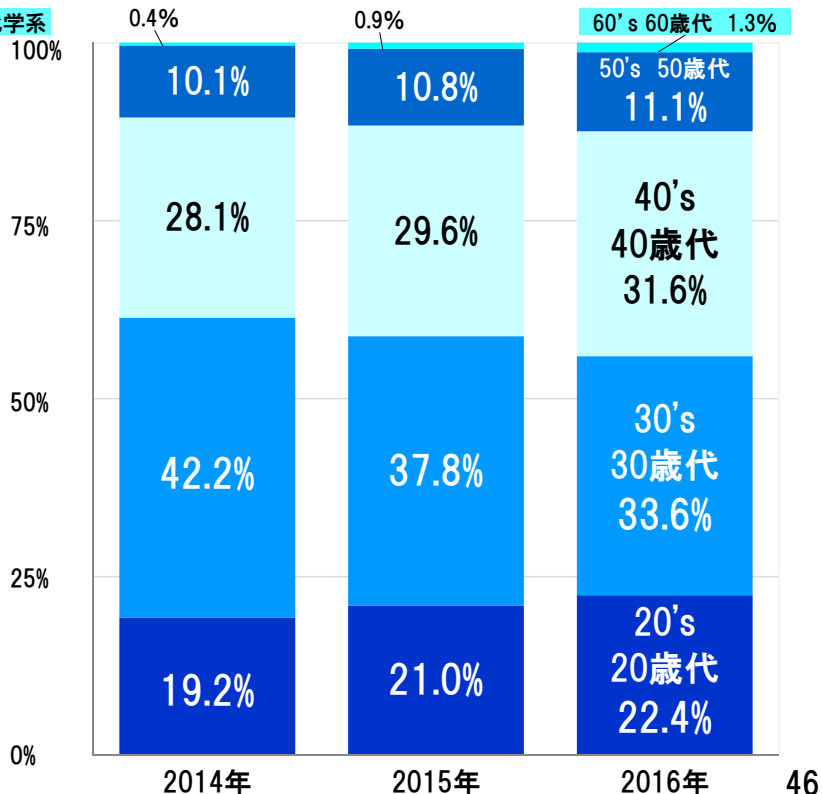
✓ メイテック・エンジニアの技術分野は、機械系、電気系エンジニアで7割超

3月末現在

技術分野/Technical field



年齢/According to age



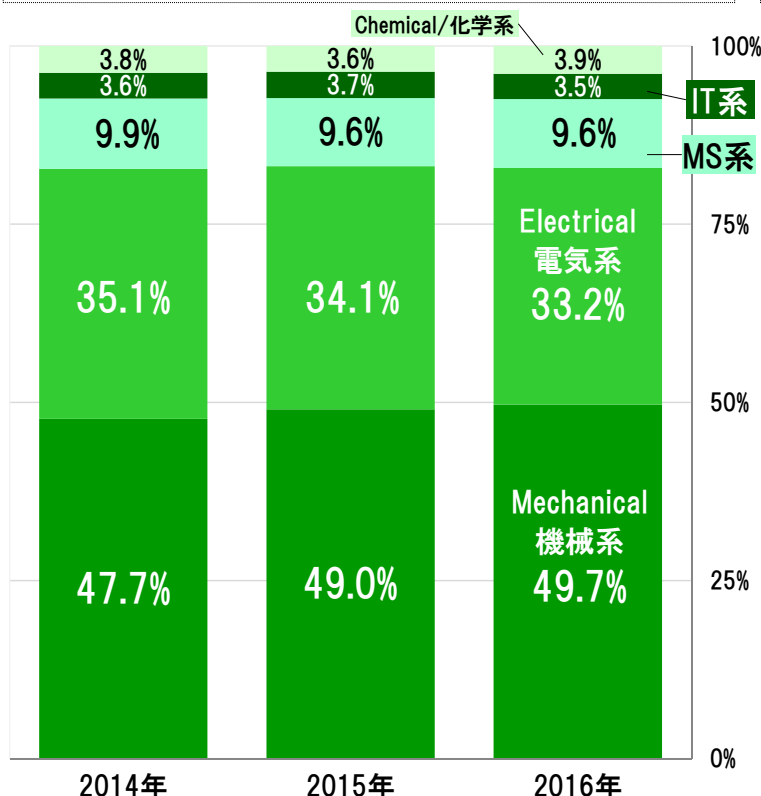
メイテックフィルダーズエンジニアの構成

再掲

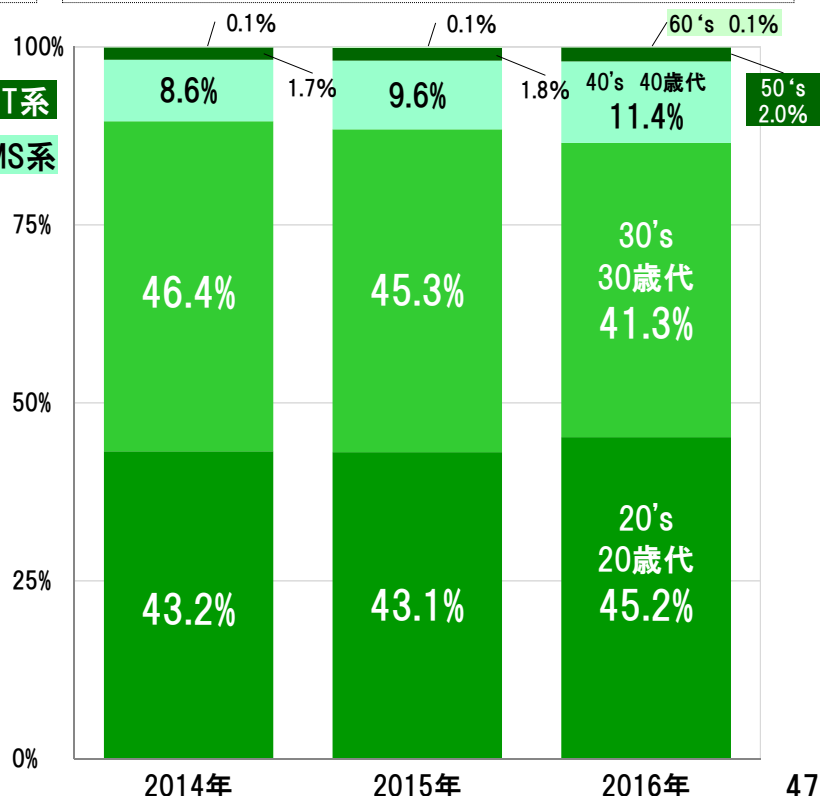
✓ 技術分野は、機械系、電気系エンジニアで8割超

3月末現在

技術分野/Technical field



年齢/According to age



【連結】業績推移

(百万円)	2008-2Q	2009-2Q	2010-2Q	2011-2Q	2012-2Q	2013-2Q	2014-2Q	2015-2Q	2016-2Q
売上高	41,396	26,203	29,357	31,937	34,130	35,754	39,300	42,143	44,111
原価	29,429	23,478	23,628	24,052	25,119	26,607	29,366	31,321	32,861
原価率	71.1%	89.6%	80.5%	75.3%	73.6%	74.4%	74.7%	74.3%	74.5%
売上総利益	11,966	2,724	5,728	7,885	9,010	9,146	9,934	10,821	11,249
販売費及び一般管理費	6,591	5,973	5,065	5,556	6,119	6,239	5,941	6,077	6,178
販管費率	15.9%	22.8%	17.3%	17.4%	17.9%	17.4%	15.1%	14.4%	14.0%
営業利益	5,375	▲3,248	662	2,328	2,891	2,907	3,992	4,744	5,071
営業利益率	13.0%	▲12.4%	2.3%	7.3%	8.5%	8.1%	10.2%	11.3%	11.5%
営業外収益	53	2,456	1,468	46	74	33	24	14	11
営業外費用	33	58	43	24	20	9	3	35	7
経常利益	5,395	▲850	2,087	2,350	2,945	2,931	4,012	4,723	5,074
経常利益率	13.0%	▲3.2%	7.1%	7.4%	8.6%	8.2%	10.2%	11.2%	11.5%
特別利益	10	26	297	—	47	—	7	1,084	2
特別損失	60	26	83	2	206	18	3,464	30	3
税金等調整前四半期純利益	5,345	▲850	2,302	2,347	2,786	2,913	555	5,777	5,073
税金費用など	2,305	364	686	1,051	1,094	1,207	361	1,979	1,607
親会社株主に帰属する 四半期純利益	3,039	▲1,214	1,615	1,295	1,692	1,706	194	3,798	3,466
純利益率	7.3%	▲4.6%	5.5%	4.1%	5.0%	4.8%	0.5%	9.0%	7.9%

48

〈メイトック〉業績推移

(百万円)	2008-2Q	2009-2Q	2010-2Q	2011-2Q	2012-2Q	2013-2Q	2014-2Q	2015-2Q	2016-2Q
売上高	31,163	20,097	22,698	25,256	27,125	28,150	30,682	33,131	34,073
原価	22,095	18,015	18,629	19,180	20,081	21,094	23,091	24,758	25,545
原価率	70.9%	89.6%	82.1%	75.9%	74.0%	74.9%	75.3%	74.7%	75.0%
売上総利益	9,067	2,082	4,069	6,075	7,043	7,056	7,590	8,372	8,527
販売費及び一般管理費	4,082	4,013	3,829	4,131	4,583	4,664	4,325	4,444	4,426
販管費率	13.1%	20.0%	16.9%	16.4%	16.9%	16.6%	14.1%	13.4%	13.0%
営業利益	4,985	▲1,931	239	1,944	2,460	2,392	3,265	3,927	4,100
営業利益率	16.0%	▲9.6%	1.1%	7.7%	9.1%	8.5%	10.6%	11.9%	12.0%
営業外収益	510	2,070	1,350	337	291	403	435	497	585
営業外費用	24	28	16	19	11	4	3	30	6
経常利益	5,471	109	1,573	2,262	2,739	2,791	3,697	4,395	4,679
経常利益率	17.6%	0.5%	6.9%	9.0%	10.1%	9.9%	12.0%	13.3%	13.7%
特別利益	5	1	1	—	—	—	8	1,084	15
特別損失	56	15	73	2	210	43	3,463	43	3
税引前四半期純利益	5,420	95	1,501	2,260	2,528	2,748	242	5,437	4,691
税金費用など	2,018	64	600	904	935	1,003	69	1,687	1,411
四半期純利益	3,402	31	900	1,356	1,593	1,745	172	3,749	3,279
純利益率	10.9%	0.2%	4.0%	5.4%	5.9%	6.2%	0.6%	11.3%	9.6%

49

〈メイトックフィルダーズ〉業績推移

(百万円)	2008-2Q	2009-2Q	2010-2Q	2011-2Q	2012-2Q	2013-2Q	2014-2Q	2015-2Q	2016-2Q
売上高	5,531	3,402	3,942	4,113	4,513	5,037	5,753	6,386	7,218
原価	4,029	3,372	3,138	3,134	3,436	3,879	4,453	4,965	5,637
原価率	72.8%	99.1%	79.6%	76.2%	76.1%	77.0%	77.4%	77.7%	78.1%
売上総利益	1,502	30	804	978	1,076	1,157	1,300	1,421	1,580
販売費及び一般管理費	1,032	990	549	738	807	806	813	873	939
販管費率	18.7%	29.1%	13.9%	17.9%	17.9%	16.0%	14.1%	13.7%	13.0%
営業利益	469	▲960	254	240	269	351	486	547	641
営業利益率	8.5%	▲28.2%	6.4%	5.8%	6.0%	7.0%	8.5%	8.6%	8.9%
営業外収益	4	455	136	2	1	1	—	—	—
営業外費用	—	1	—	—	—	—	—	—	1
経常利益	474	▲506	389	242	270	352	486	548	639
経常利益率	8.6%	▲14.9%	9.9%	5.9%	6.0%	7.0%	8.5%	8.6%	8.9%
特別利益	—	—	—	—	—	—	—	—	—
特別損失	—	—	1	—	—	—	—	—	—
税引前四半期純利益	473	▲507	389	242	270	352	486	548	639
税金費用など	197	277	15	96	102	133	189	198	116
四半期純利益	276	▲785	373	145	167	218	297	349	523
純利益率	5.0%	▲23.1%	9.5%	3.5%	3.7%	4.3%	5.2%	5.5%	7.3%

50

〈メイトックネクスト〉業績推移

(百万円)	2008-2Q	2009-2Q	2010-2Q	2011-2Q	2012-2Q	2013-2Q	2014-2Q	2015-2Q	2016-2Q
売上高	275	173	215	283	368	447	536	639	758
原価									
原価率									
売上総利益	275	173	215	283	368	447	536	639	758
販売費及び一般管理費	289	180	162	203	246	278	355	435	475
販管費率	105.2%	104.0%	75.1%	71.7%	67.0%	62.2%	66.3%	68.0%	62.6%
営業利益	▲14	▲6	53	80	121	169	180	204	283
営業利益率	▲5.2%	▲4.0%	24.9%	28.3%	33.0%	37.8%	33.7%	32.0%	37.4%
営業外収益	—	—	1	—	—	—	—	—	—
営業外費用	—	—	—	—	—	—	—	—	—
経常利益	▲14	▲6	55	80	121	169	180	204	283
経常利益率	▲5.2%	▲3.9%	25.5%	28.4%	33.0%	37.9%	33.7%	32.0%	37.4%
特別利益	—	—	—	—	—	—	—	—	—
特別損失	—	—	—	—	—	—	—	—	—
税引前四半期純利益	▲14	▲6	54	80	121	169	180	204	283
税金費用など	—	—	—	—	9	55	64	67	90
四半期純利益	▲14	▲7	54	80	112	114	116	136	193
純利益率	▲5.3%	▲4.1%	25.1%	28.4%	30.5%	25.5%	21.6%	21.4%	25.5%

51

【連結】バランスシート推移

(百万円)	2007/9/30	2008/9/30	2009/9/30	2010/9/30	2011/9/30	2012/9/30	2013/9/30	2014/9/30	2015/9/30	2016/9/30
現金・預金	17,295	18,925	14,851	19,548	24,504	27,506	27,866	30,719	35,716	34,954
受取手形・売掛金	12,687	12,395	8,016	9,389	9,391	10,036	10,070	11,680	12,048	12,695
流動資産合計	36,141	35,285	27,391	32,210	37,128	40,935	42,090	46,427	52,071	52,568
有形固定資産合計	13,873	13,093	12,390	11,986	11,465	10,920	10,785	7,333	5,980	5,632
固定資産合計	22,004	22,280	19,823	18,600	17,494	16,215	15,799	12,393	12,271	11,183
資産合計	58,146	57,565	47,214	50,811	54,623	57,150	57,890	58,821	64,343	63,752
流動負債合計	13,363	12,807	5,762	7,488	8,409	9,760	9,642	11,351	12,850	12,923
固定負債合計	6,634	6,708	7,423	8,271	8,890	9,496	10,256	10,857	12,046	13,555
負債合計	19,997	19,516	13,185	15,760	17,299	19,257	19,898	22,209	24,897	26,478
株主資本	38,541	38,474	34,604	35,716	38,146	38,744	38,816	38,401	41,387	39,570
その他	▲393	▲424	▲575	▲666	▲822	▲851	▲824	▲1,789	▲1,941	▲2,296
純資産合計	38,148	38,049	34,028	35,050	37,324	37,893	37,991	36,612	39,445	37,273

52

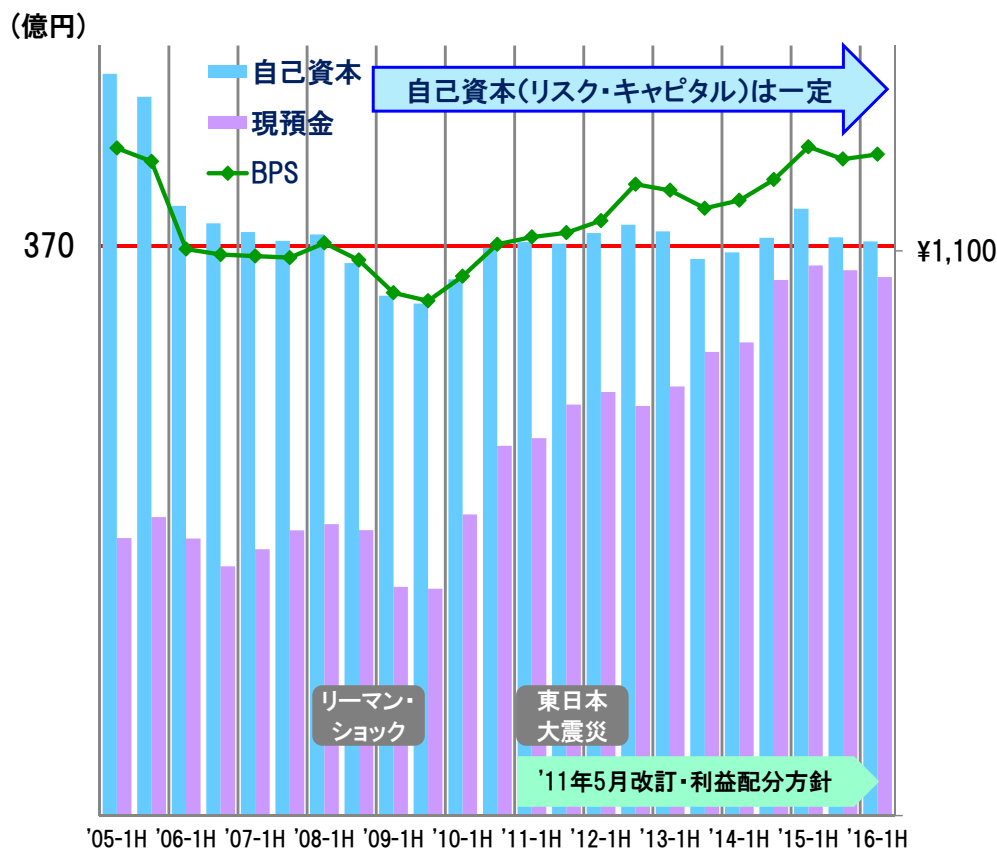
利益配分実績と予想

	2005年度	2006年度	2007年度	2008年度	2009年度	2010年度	2011年度	2012年度	2013年度	2014年度	実績 2015年度	予想 2016年度
配当性向(連結)	65.1%	1,085.7%	50.5%	58.9%	—	24.7%	68.5%	53.2%	56.1%	92.4%	53.5%	53.1%
純資産配当率(連結)	7.1%	7.4%	6.5%	6.9%	2.4%	2.6%	5.2%	8.4%	6.0%	9.2%	11.4%	
年間配当												
1株当たり	@¥90.50	@¥89.00	@¥72.00	@¥75.00	@¥24.50	@¥27.50	@¥58.50	@¥99.00	@¥72.00	@¥111.00	@¥144.00	@¥139.50
金額(百万円)	3,329	3,162	2,488	2,518	812	911	1,925	3,134	2,220	3,373	4,286	4,038
中間配当												
1株当たり	@¥44.00	@¥44.00	@¥37.50	@¥47.00	@¥24.50		@¥29.00	@¥30.00	@¥31.50	@¥44.00	@¥63.00	@¥68.00
金額(百万円)	1,630	1,579	1,304	1,590	812		961	981	983	1,344	1,908	1,968
期末配当												
1株当たり	@¥46.50	@¥45.00	@¥34.50	@¥28.00		@¥27.50	@¥29.50	@¥69.00	@¥40.50	@¥67.00	@¥81.00	@¥71.50
金額(百万円)	1,699	1,583	1,184	928		911	965	2,153	1,237	2,029	2,378	2,069
自己株式取得												
株数(千株)	1,405	1,353	857	1,174			421	1,506	641	269	279	
金額(百万円)	5,100	5,099	3,100	2,800			700	2,800	1,800	899	3,799	3,599
総利益配分額(百万円)	8,429	8,261	5,588	5,318	812	911	2,625	5,934	4,020	4,273	8,086	7,637
株式消却												
株数(千株)	1,562	1,400		342			400	1,700	500	300	900	
株価												
期初4月1日	¥3,830	¥3,870	¥3,860	¥3,040	¥1,242	¥1,893	¥1,621	¥1,681	¥2,193	¥2,857	¥3,965	¥3,865
期末3月31日	¥3,870	¥3,800	¥3,020	¥1,216	¥1,831	¥1,664	¥1,669	¥2,343	¥2,930	¥4,025	¥3,935	
1株当たり当期純利益	@¥138.93	@¥8.20	@¥142.64	@¥127.31	@¥▲27.30	@¥111.33	@¥85.45	@¥186.08	@¥128.30	@¥120.12	@¥269.24	@¥262.58
1株当たり純資産	@¥1,274.10	@¥1,092.80	@¥1,086.71	@¥1,081.85	@¥1,002.58	@¥1,112.69	@¥1,135.10	@¥1,229.62	@¥1,182.85	@¥1,238.78	@¥1,278.59	

53

自己資本・現預金

- ✓ 既方針に則した利益配分を継続し、自己資本は約370億円を維持
- ✓ 今後の成長目標も見据えて、現状水準の「自己資本の“質と量”の充実」を優先



- 無期雇用エンジニア派遣事業では、経済危機下でも、エンジニアの雇用を守り抜く事が持続的成長に不可欠
→ エンジニアは、安定雇用を前提として、自身のキャリアを磨く事に専念し続ける
- そのためには、資金残高にも配慮しつつ、財務の安全性につながる「自己資本の“質と量”の充実」を優先する

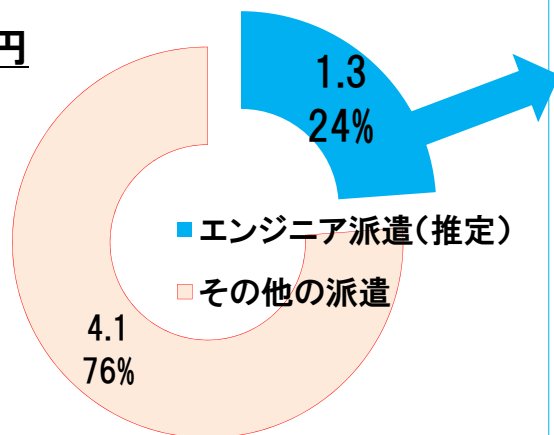
54

エンジニア派遣市場(推定)

- ✓ エンジニア派遣市場のメイテックグループのシェアは推定6%
- ✓ メイテックの時間単価の高さは突出 → エンジニアの「技術力×人間力」が高い

2014年度の労働者派遣事業・売上高

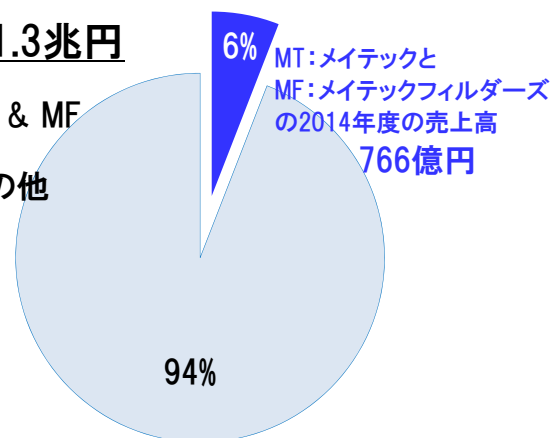
5.4兆円



エンジニア派遣市場(推定)

推定1.3兆円

- MT & MF
- その他



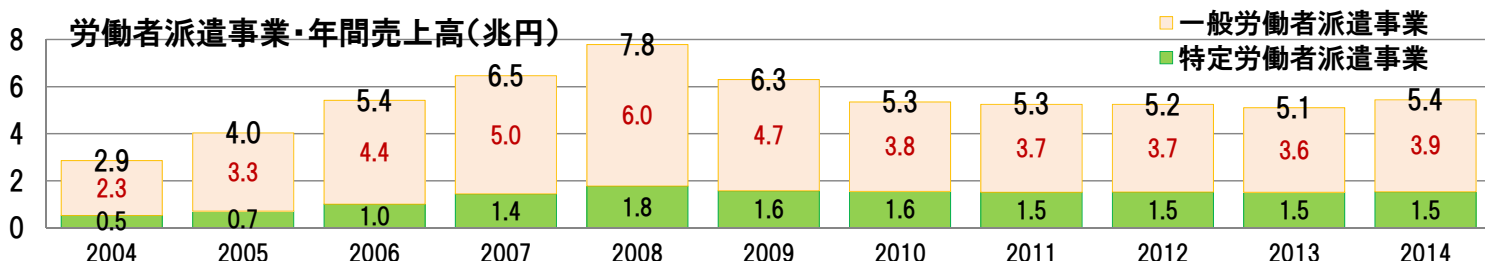
メイテック
@¥5,022
(2014年3月)

エンジニア派遣
@¥3,520
(推定)

特定派遣
@¥3,008

一般派遣
@¥2,160

労働者派遣事業・年間売上高(兆円)

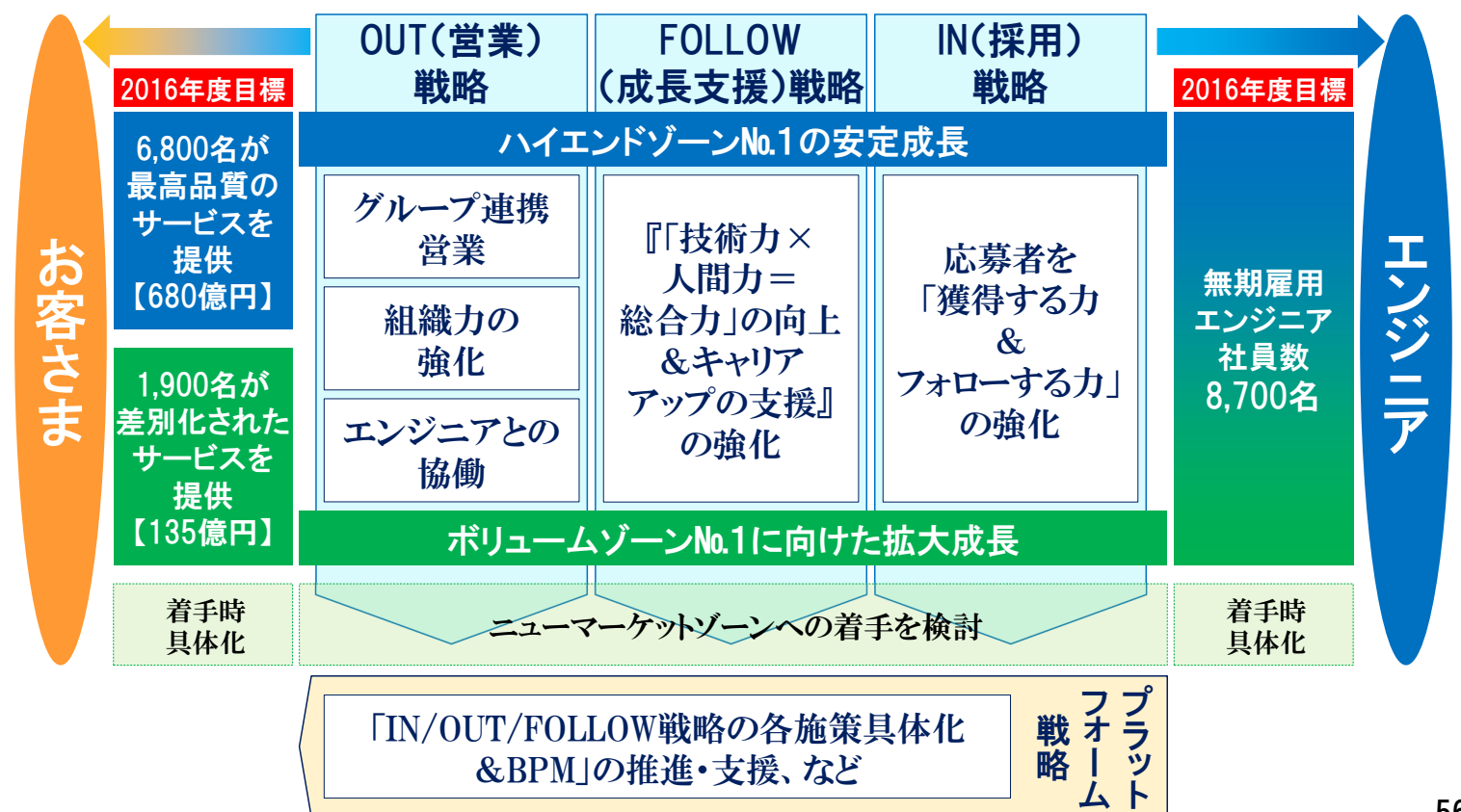


出所:厚生労働省「労働者派遣事業報告書の集計結果」、推定値は当社試算。

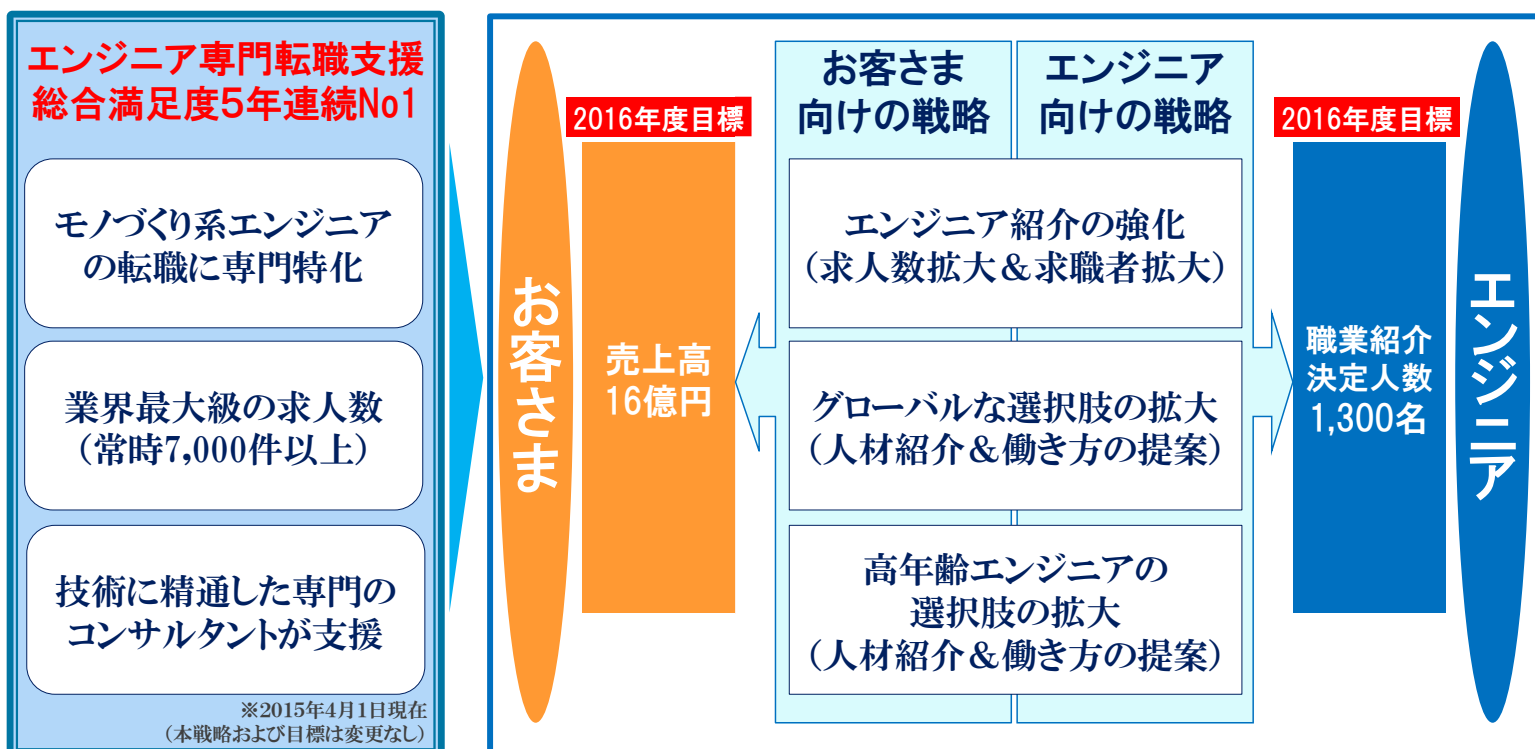
注:当社は推定値に関して何ら一切の責任を負いません。

55

✓ エンジニア派遣事業で、強みの『最大・最高の「機会と場」』をより一層拡大へ
→4つの戦略(IN・OUT・FOLLOW・プラットフォーム)が一体となって、2つのサービス提供先への価値を向上



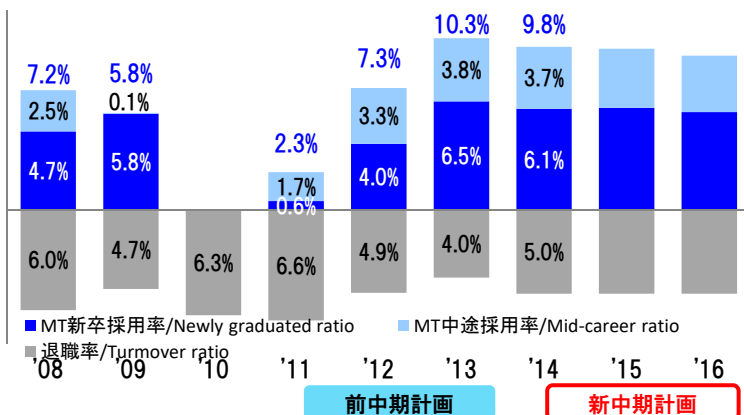
✓ エンジニア紹介事業で、強みの「エンジニア専門転職支援_総合満足度No1」を磨き一層拡大へ
✓ 今回の中期計画では、エンジニア紹介事業の中でグローバル展開を検討



※上記「2016年度目標」には、メイテックキャストにおける紹介業務の目標値を含む

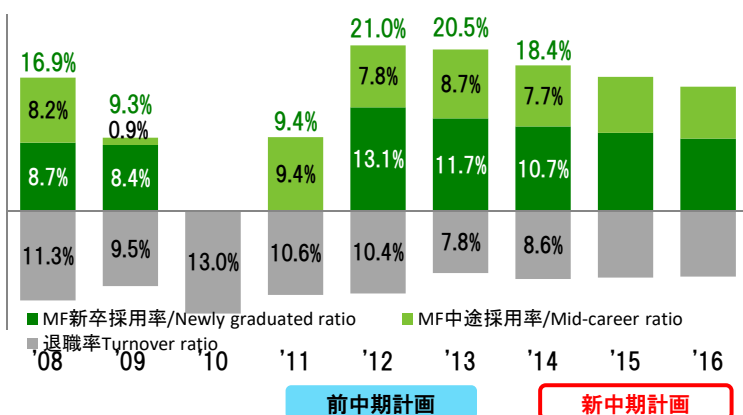
ハイエンドゾーンNo.1の安定成長

採用数は約630名/年を継続



ボリュームゾーンNo.1に向けた
拡大成長

採用数は約300名/年を継続



対価は現状維持の約5,000円/h

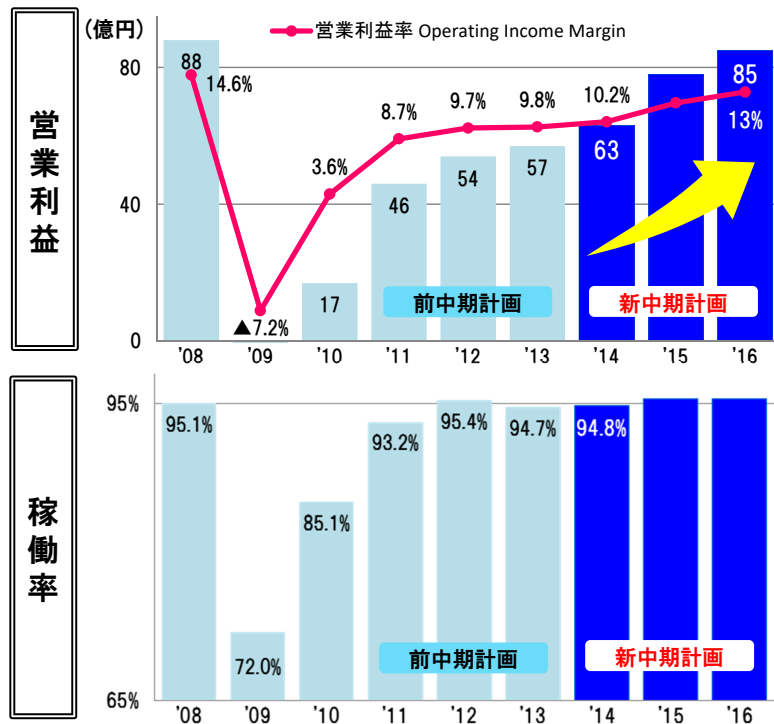
稼働時間は足元と同水準

対価は現状維持の約3,500円/h

稼働時間は足元と同水準

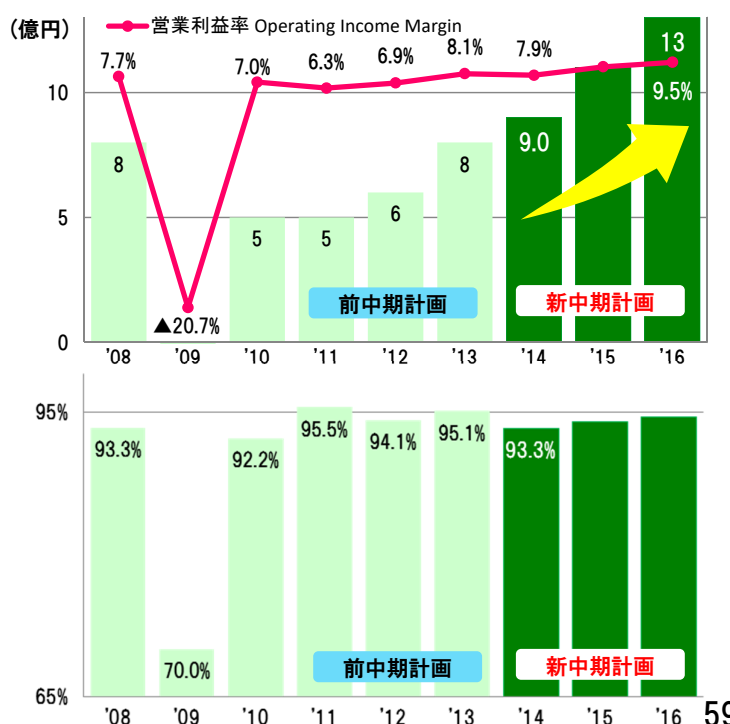
ハイエンドゾーンNo.1の安定成長

稼働率は約95%を維持



ボリュームゾーンNo.1に向けた
拡大成長

積極増員のため、
稼働率は95%を若干割り込む水準



- ✓ 2016年11月8日時点
- ✓ 社外取締役を委員長とする委員会の設置、役員報酬算定は下記の通り

I. 会社の機関

1. 組織形態 **監査役設置会社**

2. 会社独自の取り組み

① コーポレートガバナンス委員会

委員長: 社外取締役、委員: 取締役全員

- ・取締役会の実効性に関する分析・評価
- ・ガバナンス等の基本事項ほかの協議

② 役員人事諮問委員会

委員長: 社外取締役、委員: CEOと社外取締役

プロセスの適正性の評価

- ・代表取締役CEOの選解任
- ・社内業務執行取締役のパフォーマンス評価
- ・取締役・監査役候補者の指名
- ・社内業務執行取締役の報酬

CEO候補者選考協議会

II. 取締役・監査役

取締役 9名(うち社外2名、独立2名)

監査役 3名(うち社外3名、独立3名)

※独立役員の資格を満たす社外役員すべてを独立役員として指定

III. 役員報酬

固定報酬

	2016年4月1日～	
代表取締役社長 グループCEO、CEO兼COO	年額 28,800千円	(月額 2,400千円)
(COO)		
取締役	年額 19,200千円	(月額 1,600千円)
社外取締役	年額 9,000千円	(月額 750千円)
常勤監査役	年額 24,000千円	(月額 2,000千円)
非常勤監査役	年額 7,800千円	(月額 650千円)

業績連動報酬など

	2016年4月1日～	
連結当期純利益(業績連動 役員報酬を含まない)金額の	2.5%	
	上限: 年額250百万円	
うち社外取締役	支給対象外	
うち税引後の20%相当額を	自社株式取得に充当 (役員持株会方式)	

60

株主セグメント別保有状況

株主セグメント	2016年9月30日現在			
	株主数(名)	構成比	所有株式数(株)	構成比
銀行	5	0.1%	725,101	2.3%
信託銀行	20	0.3%	7,554,900	24.1%
生保・損保会社	25	0.4%	4,282,783	13.7%
証券金融・その他金融会社	5	0.1%	24,760	0.1%
証券会社	35	0.6%	712,312	2.3%
事業会社・その他法人	95	1.6%	400,246	1.3%
外国法人・外国人	210	3.5%	11,959,574	38.2%
個人その他	5,623	93.4%	5,640,324	18.0%
合計	6,018	100.0%	31,300,000	100.0%

61

本 社	東京都港区赤坂														
本 店	愛知県名古屋市西区														
証券コード	9744(東証1部)														
設 立	1974年(昭和49年)7月17日														
取 引 先	株式1部・2部上場企業および優良中堅企業約1,000社														
営業拠点	東京・名古屋・大阪など国内主要都市34拠点														
グループ会社	<table><tr><td>【派遣事業】</td><td>【紹介事業】</td></tr><tr><td>■ 株式会社メイテックフィルダーズ</td><td>■ 株式会社メイテックネクスト</td></tr><tr><td>■ 株式会社メイテックキャスト</td><td>■ 株式会社all engineer.jp</td></tr><tr><td>■ 株式会社メイテックEX</td><td>■ 明達科(上海)科技有限公司</td></tr><tr><td></td><td>■ 明達科(上海)人才服务有限公司</td></tr><tr><td></td><td>【エンジニアリングソリューション事業】</td></tr><tr><td></td><td>■ アポロ技研株式会社</td></tr></table>	【派遣事業】	【紹介事業】	■ 株式会社メイテックフィルダーズ	■ 株式会社メイテックネクスト	■ 株式会社メイテックキャスト	■ 株式会社all engineer.jp	■ 株式会社メイテックEX	■ 明達科(上海)科技有限公司		■ 明達科(上海)人才服务有限公司		【エンジニアリングソリューション事業】		■ アポロ技研株式会社
【派遣事業】	【紹介事業】														
■ 株式会社メイテックフィルダーズ	■ 株式会社メイテックネクスト														
■ 株式会社メイテックキャスト	■ 株式会社all engineer.jp														
■ 株式会社メイテックEX	■ 明達科(上海)科技有限公司														
	■ 明達科(上海)人才服务有限公司														
	【エンジニアリングソリューション事業】														
	■ アポロ技研株式会社														

人と技術で次代を拓く

MEITEC

メイテックグループ

IRに関するお問い合わせ

Tel : 03-5413-0131 Mail : ir@meitec.com

<http://www.meitec.co.jp>

〈ご注意〉

本資料に記載した業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

実際の業績等に影響を与える可能性のある重要な要因には、既に公表している有価証券報告書等で記載した「事業等のリスク」に係る事項があります。なお、業績に影響を与える要因はこれらに限定されるものではありません。